

飯塚市在宅介護実態調査 調査結果報告書

令和5年5月

飯 塚 市

< 目 次 >

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計及び回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
1. 基本属性	2
(1) 調査票の記入者	2
(2) 性別	2
(3) 年齢	2
(4) 要介護度	3
(5) 居住地区別 性別・年齢・要介護度	3
(6) 世帯類型	4
2. 対象者本人の介護について	5
(1) 家族・親族からの介護の頻度	5
(2) 主な介護者	6
(3) 主な介護者の性別	7
(4) 主な介護者の年齢	7
(5) 主な介護者が行っている介護	8
(6) 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無	11
(7) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	12
(8) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス	15
(9) 施設等への入所・入居の検討状況	18
(10) 現在抱えている傷病	20
(11) 訪問診療の利用状況	22
(12) 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況	23
(13) 介護保険サービスを利用していない理由	24
3. 主な介護者の就労と今後の介護について	26
(1) 主な介護者の就労状況	26
(2) 働き方の調整等の有無	27
(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援	29
(4) 今後の介護継続意向	31
(5) 主な介護者が不安に感じる介護	33
4. 市独自質問（今後の介護希望・終末期について）	36
(1) 最期をどこで迎えたいか	36
(2) どのような施設で最期を迎えたいか	37
(3) 施設を選択した理由	38
(4) 希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にあるか	39
(5) 今後の介護希望について	41
(6) 介護保険対象外の利用したいサービスについて	42
(7) 飯塚市について	43
5. 調査結果に基づく分析	45
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	45
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	45
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	45
(4) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	45
第3章 調査票	46

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和5年度に予定している第9期飯塚市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定の基礎資料として、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「介護者（ご家族等）の就労の継続」の実現（いわゆる介護離職ゼロ）等を検討することを目的とする。

2. 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	市内に居住する要支援・要介護認定者 1,500件
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	900人 (60.0%)
調査期間	令和5年3月10日～3月24日

3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 「世帯類型別」「要介護度別」等の他の質問の回答別に集計したグラフでは、副問（サブクエスション）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の基数（n）を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 「前回調査」とは、令和2年度在宅介護実態調査をさす。

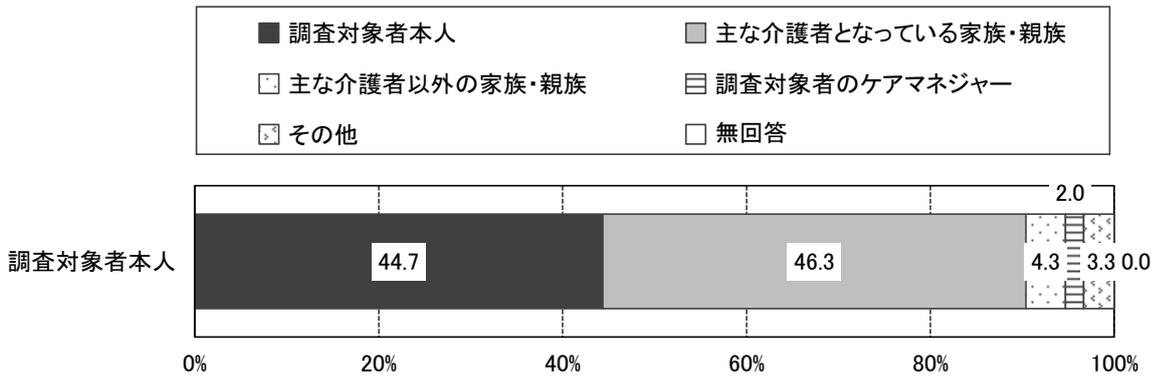
第2章 調査結果

1. 基本属性

(1) 調査票の記入者

調査票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」(46.3%)が最も高く、次いで「調査対象者本人」(44.7%)、「主な介護者以外の家族・親族」(4.3%)となっている。

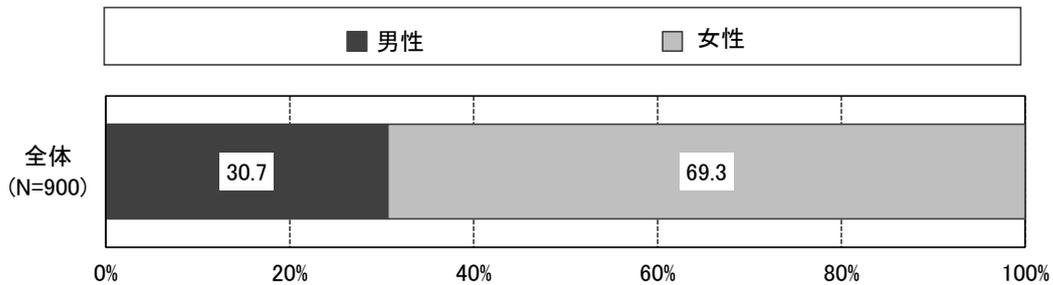
図表－1 調査票の記入者



(2) 性別

性別は、「男性」(30.7%)、「女性」(69.3%)と、女性の割合が高い。

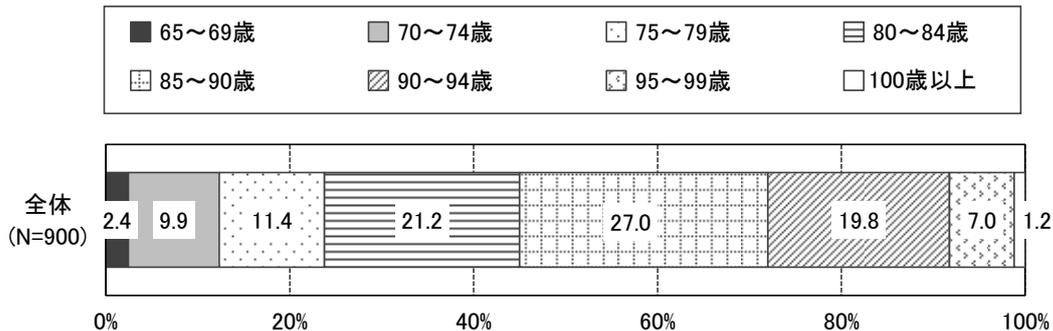
図表－2 性別



(3) 年齢

年齢をみると、「85～89歳」(27.0%)が最も高く、次いで「80～84歳」(21.2%)、「90～94歳」(19.8%)となっており、後期高齢者の割合が87.6%となっている。

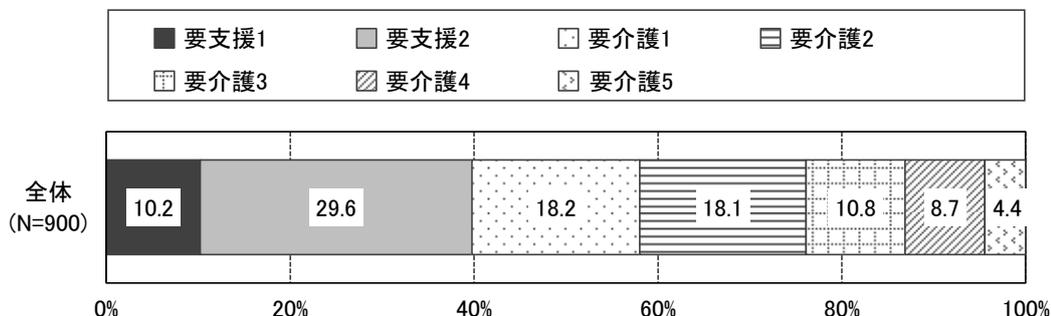
図表－3 年齢



(4) 要介護度

要介護度をみると、「要支援2」(29.6%)が最も高く、次いで「要介護1」(18.2%)、「要介護2」(18.1%)となっており、「要支援1」「要支援2」で39.8%を占めている。

図表-4 要介護度



(5) 居住地区別 性別・年齢・要介護度

居住地区別でみると、いずれの地区でも「女性」が6割以上を占めており、年齢は全ての地区で80歳以上が6割以上となっている。要介護度は、要介護2以上が「鎮西地区」(53.3%)と「颯田地区」(52.3%)で5割以上となっており、他の地区に比べて高い。

図表-5 居住地区別 性別・年齢・要介護度

	調査数 (人)	性別			調査数 (人)	年齢										
		男性	女性	無回答		未6 満5 歳	66 95 歳	77 40 歳	77 95 歳	88 40 歳	98 05 歳	99 40 歳	99 95 歳	1 歳 以 上 0	無 回 答	
		(%)	(%)	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
前回調査	617	30.1	69.5	0.3	617	1.0	7.8	7.5	16.0	23.7	25.4	14.1	3.7	0.5	0.3	
全体	900	30.7	69.3	0.0	900	0.0	2.4	9.9	11.4	21.2	27.0	19.8	7.0	1.2	0.0	
居住地区	飯塚地区	107	29.0	71.0	0.0	107	0.0	2.8	11.2	4.7	11.2	31.8	24.3	13.1	0.9	0.0
	飯塚東地区	72	30.6	69.4	0.0	72	0.0	1.4	9.7	12.5	23.6	22.2	18.1	12.5	0.0	0.0
	鯉田地区	56	32.1	67.9	0.0	56	0.0	5.4	14.3	14.3	19.6	19.6	23.2	3.6	0.0	0.0
	菰田地区	33	21.2	78.8	0.0	33	0.0	3.0	6.1	6.1	21.2	30.3	18.2	15.2	0.0	0.0
	二瀬地区	120	35.0	65.0	0.0	120	0.0	2.5	14.2	12.5	28.3	19.2	18.3	2.5	2.5	0.0
	幸袋地区	64	25.0	75.0	0.0	64	0.0	1.6	6.3	15.6	25.0	25.0	21.9	4.7	0.0	0.0
	鎮西地区	75	36.0	64.0	0.0	75	0.0	1.3	13.3	10.7	24.0	24.0	20.0	5.3	1.3	0.0
	穂波東地区	74	28.4	71.6	0.0	74	0.0	1.4	5.4	5.4	31.1	35.1	20.3	1.4	0.0	0.0
	穂波西地区	97	32.0	68.0	0.0	97	0.0	2.1	10.3	16.5	11.3	34.0	20.6	5.2	0.0	0.0
	筑穂地区	88	30.7	69.3	0.0	88	0.0	3.4	4.5	18.2	14.8	28.4	17.0	11.4	2.3	0.0
	庄内地区	70	32.9	67.1	0.0	70	0.0	2.9	11.4	8.6	22.9	28.6	15.7	4.3	5.7	0.0
颯田地区	44	25.0	75.0	0.0	44	0.0	2.3	6.8	9.1	29.5	25.0	18.2	9.1	0.0	0.0	

	調査数 (人)	要介護度								無 回 答	
		非 該 当	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5		
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		
前回調査	617	0.5	7.0	11.0	35.7	21.4	11.8	9.2	3.1	0.3	
全体	900	0.0	10.2	29.6	18.2	18.1	10.8	8.7	4.4	0.0	
居住地区	飯塚地区	107	0.0	10.3	32.7	15.9	15.0	14.0	7.5	4.7	0.0
	飯塚東地区	72	0.0	9.7	34.7	9.7	19.4	8.3	12.5	5.6	0.0
	鯉田地区	56	0.0	16.1	35.7	19.6	12.5	14.3	1.8	0.0	0.0
	菰田地区	33	0.0	6.1	36.4	21.2	9.1	15.2	9.1	3.0	0.0
	二瀬地区	120	0.0	8.3	34.2	21.7	10.0	11.7	9.2	5.0	0.0
	幸袋地区	64	0.0	9.4	31.3	15.6	23.4	10.9	7.8	1.6	0.0
	鎮西地区	75	0.0	12.0	18.7	16.0	20.0	18.7	9.3	5.3	0.0
	穂波東地区	74	0.0	5.4	33.8	14.9	21.6	10.8	10.8	2.7	0.0
	穂波西地区	97	0.0	9.3	24.7	21.6	23.7	6.2	9.3	5.2	0.0
	筑穂地区	88	0.0	11.4	31.8	15.9	19.3	8.0	8.0	5.7	0.0
	庄内地区	70	0.0	15.7	18.6	28.6	18.6	5.7	8.6	4.3	0.0
颯田地区	44	0.0	9.1	20.5	18.2	27.3	6.8	9.1	9.1	0.0	

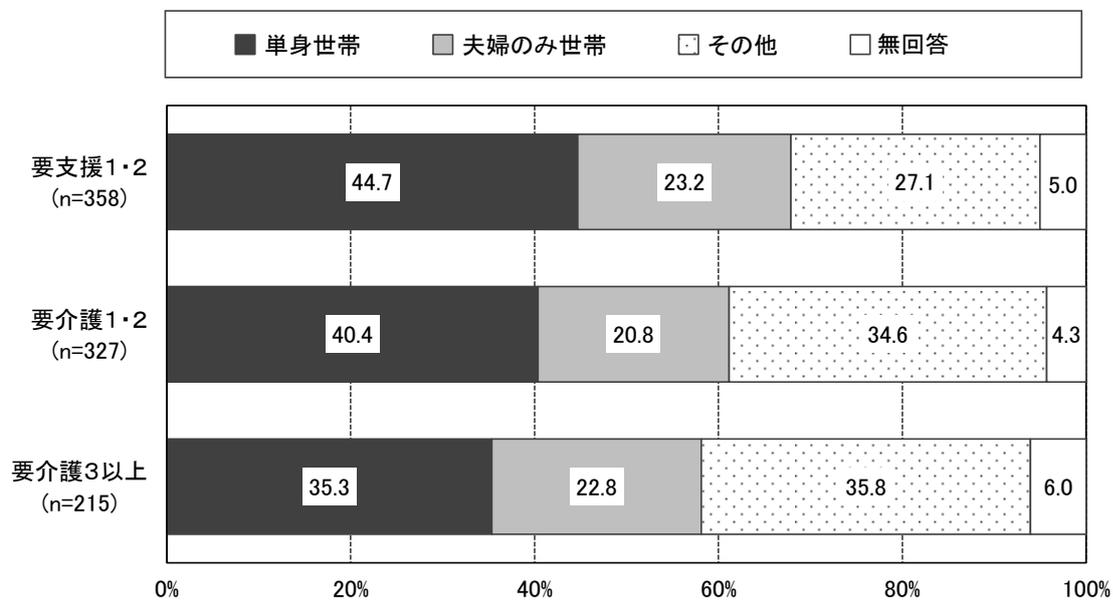
第2章 調査結果

(6) 世帯類型

A票問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

要介護度別に世帯類型をみると、要介護度が高いほど「単身世帯」の割合は、低くなっている。

図表－6 世帯類型



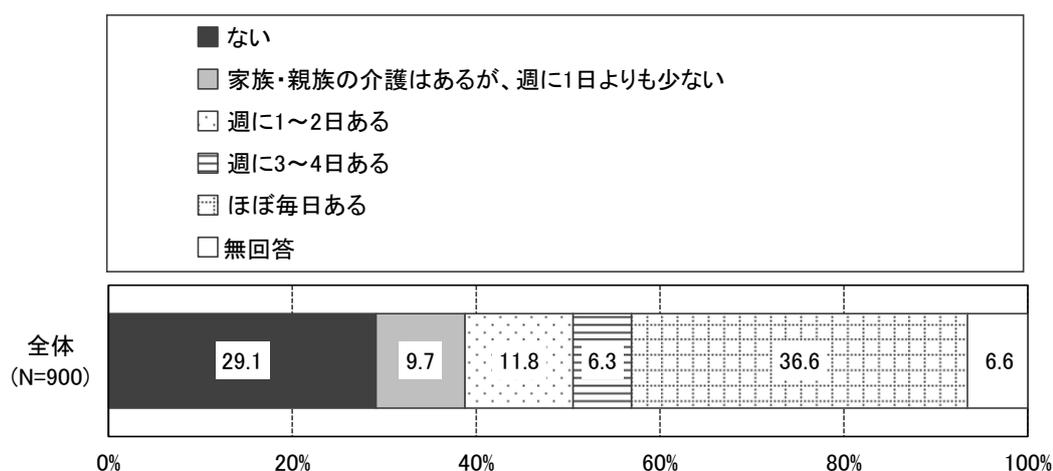
2. 対象者本人の介護について

(1) 家族・親族からの介護の頻度

A票問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

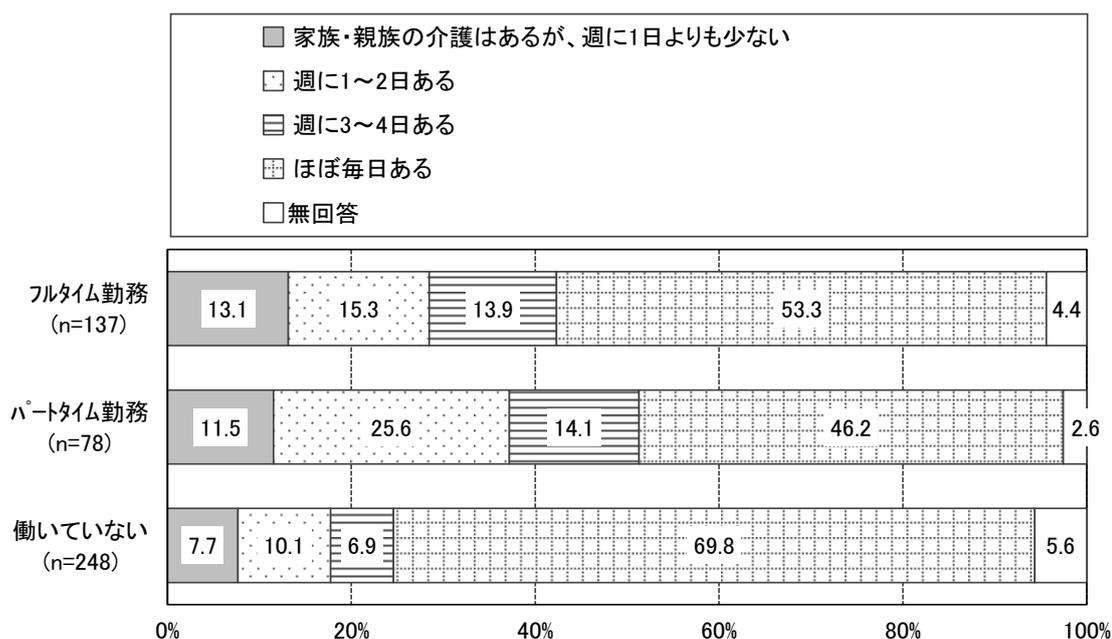
家族・親族からの介護の頻度では、「ほぼ毎日ある」(36.6%)が最も高く、次いで「ない」(29.1%)、「週1～2日ある」(11.8%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」(9.7%)、「週に3～4日ある」(6.3%)となっており、「ない」及び「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」を合計した割合が38.8%となっている。

図表－7 家族・親族からの介護の頻度



介護者の就労状況別にみると、就労時間が長くなるほど「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」の割合が高くなっている。

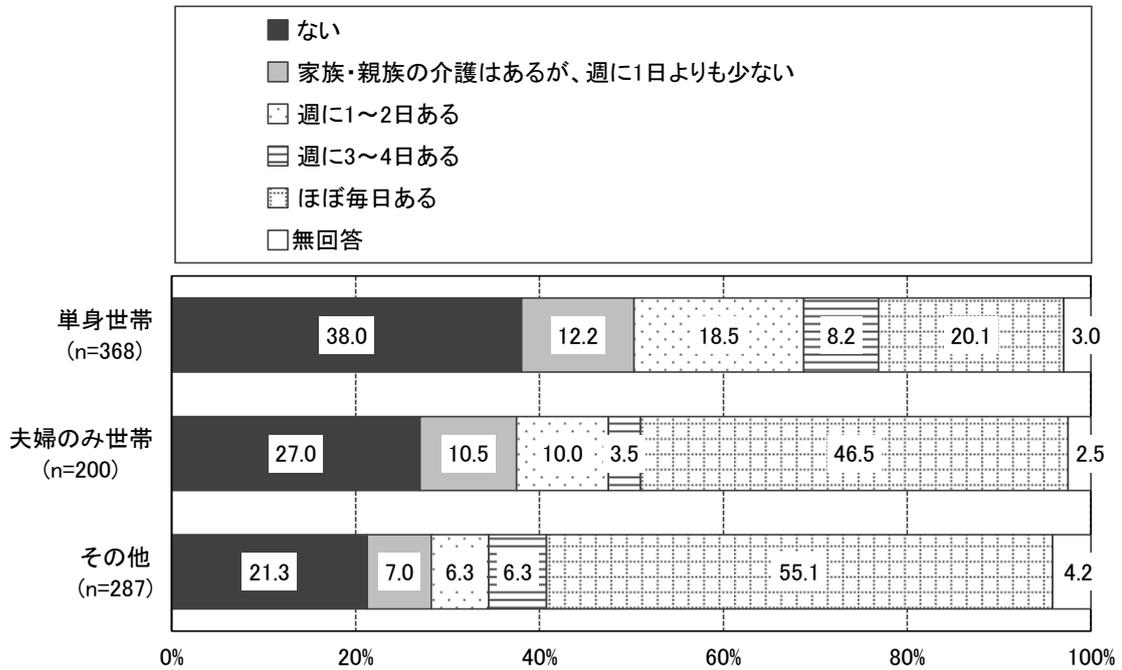
図表－8 介護者の就労状況別 家族・親族からの介護の頻度



第2章 調査結果

世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べて「ほぼ毎日ある」の割合が20.1%と低く、「ない」の割合は38.0%と高い。

図表－9 世帯類型別 家族・親族からの介護の頻度

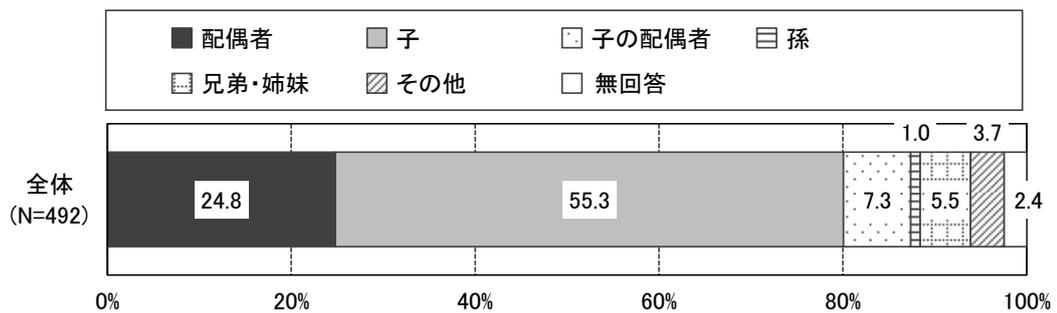


(2) 主な介護者

A票問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者では、「子」(55.3%)が最も高く、次いで「配偶者」(24.8%)、「子の配偶者」(7.3%)となっており、子または配偶者で80.1%を占める。

図表－10 主な介護者

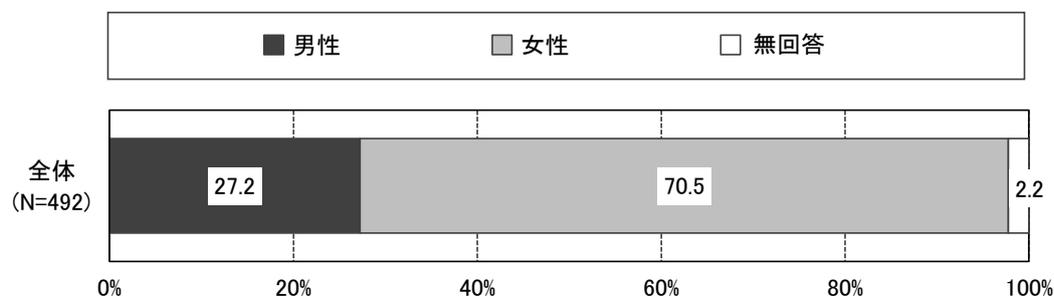


(3) 主な介護者の性別

A票問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別では、「女性」が70.5%、「男性」が27.2%となっており、女性の割合が高い。

図表－11 主な介護者の性別

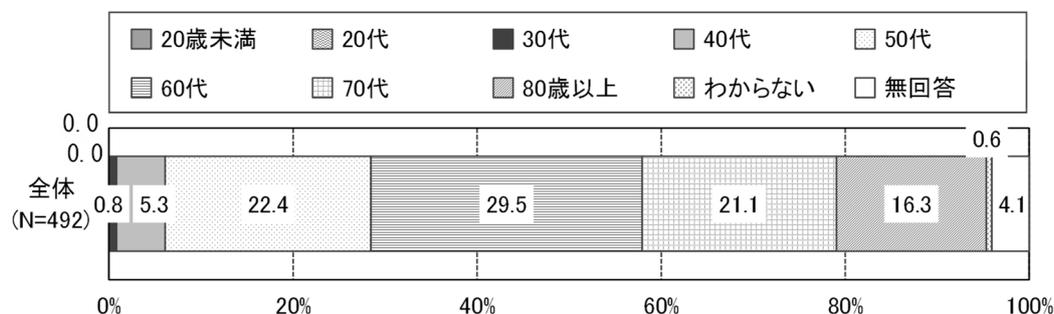


(4) 主な介護者の年齢

A票問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の年齢では、「60代」(29.5%)が最も高く、次いで「50代」(22.4%)、「70代」(21.1%)、「80歳以上」(16.3%)、「40代」(5.3%)、「30代」(0.8%)となっており、60代以上の割合が66.9%となっている。

図表－12 主な介護者の年齢



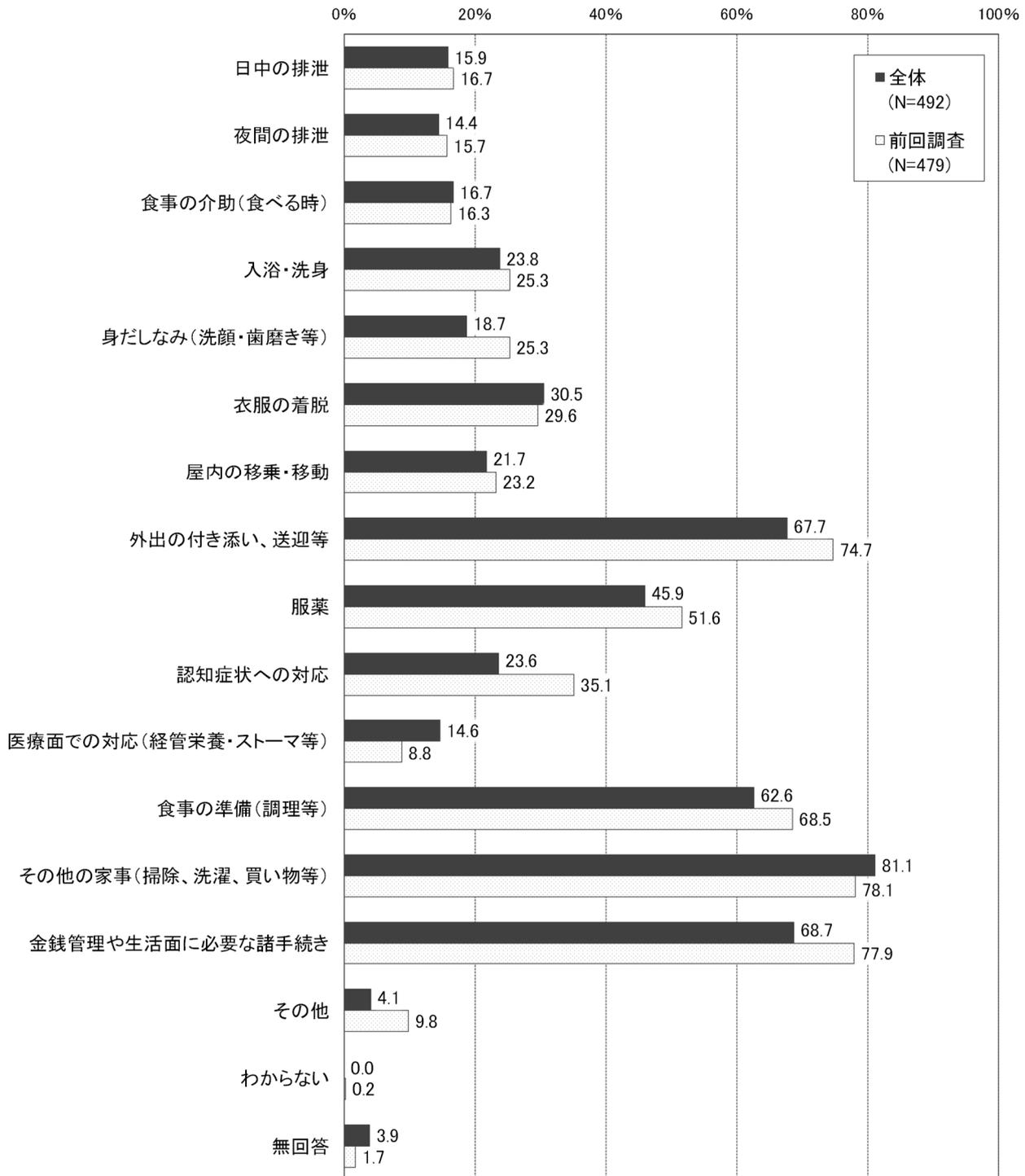
第2章 調査結果

(5) 主な介護者が行っている介護

A票問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

主な介護者が行っている介護では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（81.1%）が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（68.7%）、「外出の付き添い、送迎等」（67.7%）、「食事の準備（調理等）」（62.6%）、「服薬」（45.9%）となっている。また、「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」（14.6%）は前回調査（8.8%）より5.8ポイント増加している。

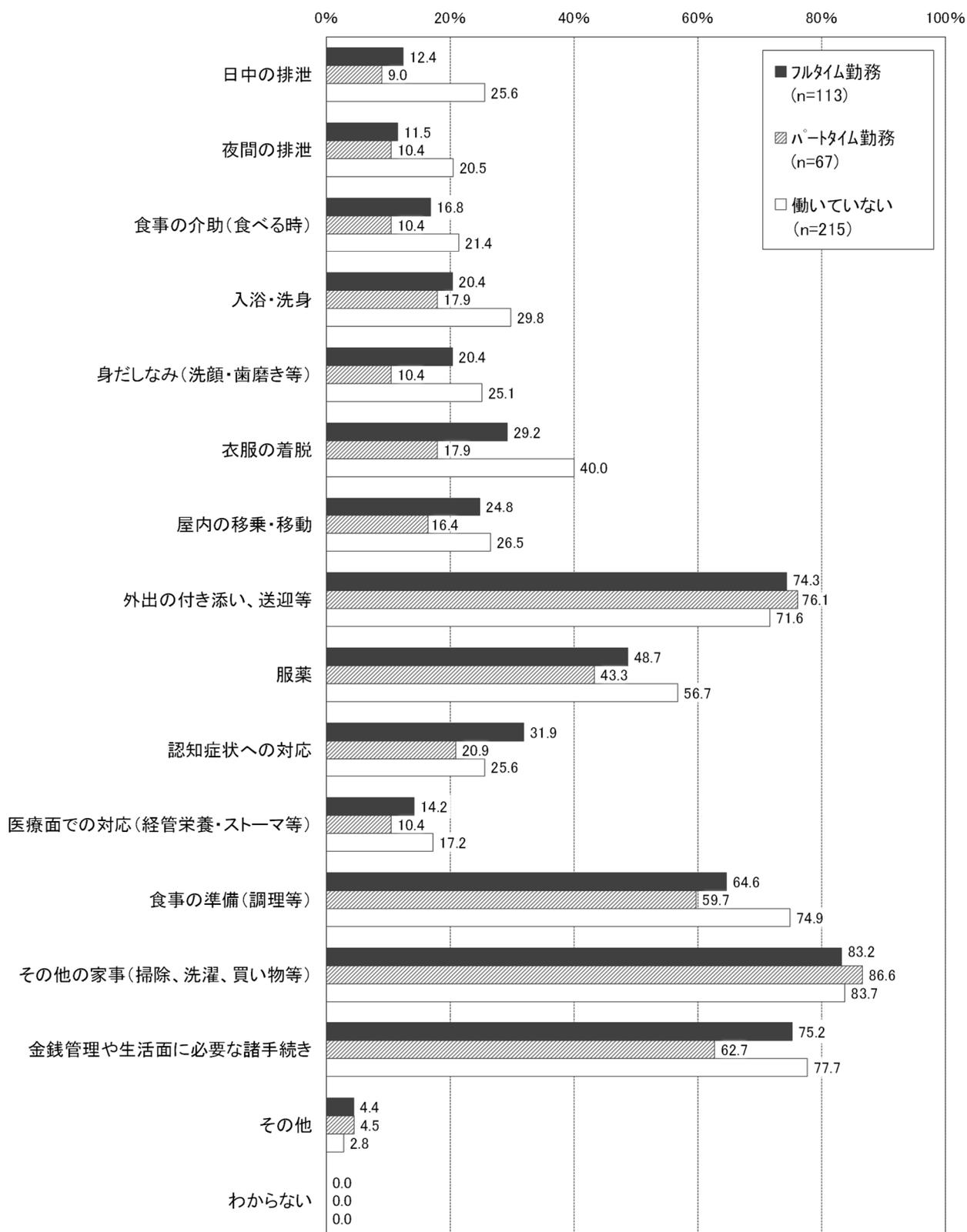
図表－13 主な介護者が行っている介護



※前回調査の基数（N）は、家族・親族からの介護の頻度を問う設問で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」と回答した人を含む。

介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「認知症状への対応」を行っている割合が他の就労状況に比べて高くなっている。また、パートタイム勤務では「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を行っている割合が他の就労状況に比べて、やや高くなっている。

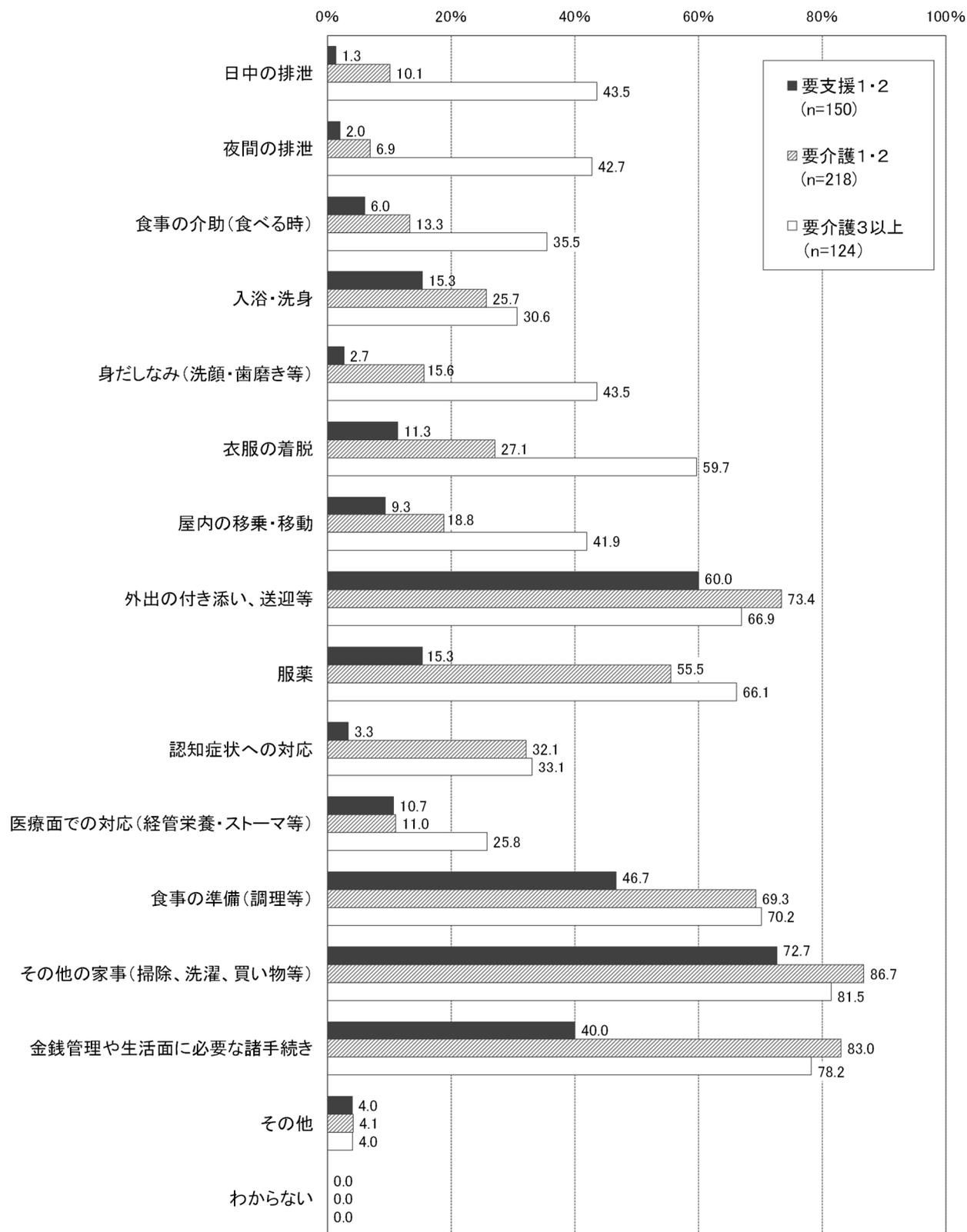
図表－14 介護者の就労状況別 主な介護者が行っている介護



第2章 調査結果

要介護度別にみると、要介護度が重度であるほど介護を行っている割合が高くなっているが、「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を行っている割合は、要介護1・2が他の介護度より高くなっている。

図表－15 要介護度別 主な介護者が行っている介護

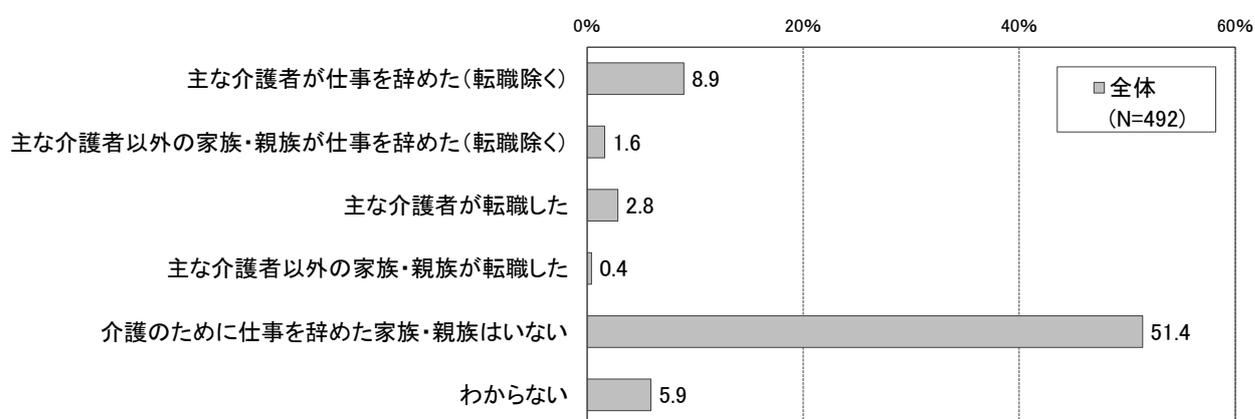


(6) 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無

A票問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の仕事の勤務形態は問いません）（複数選択可）

介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（51.4%）が最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（8.9%）、「わからない」（5.9%）、「主な介護者が転職した」（2.8%）、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」（1.6%）、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」（0.4%）となっており、介護を理由として、主な介護者やそれ以外の家族・親族が仕事を辞めた、または転職したのはいずれも1割未満である。

図表－16 介護を理由として仕事を辞めた家族・親族の有無



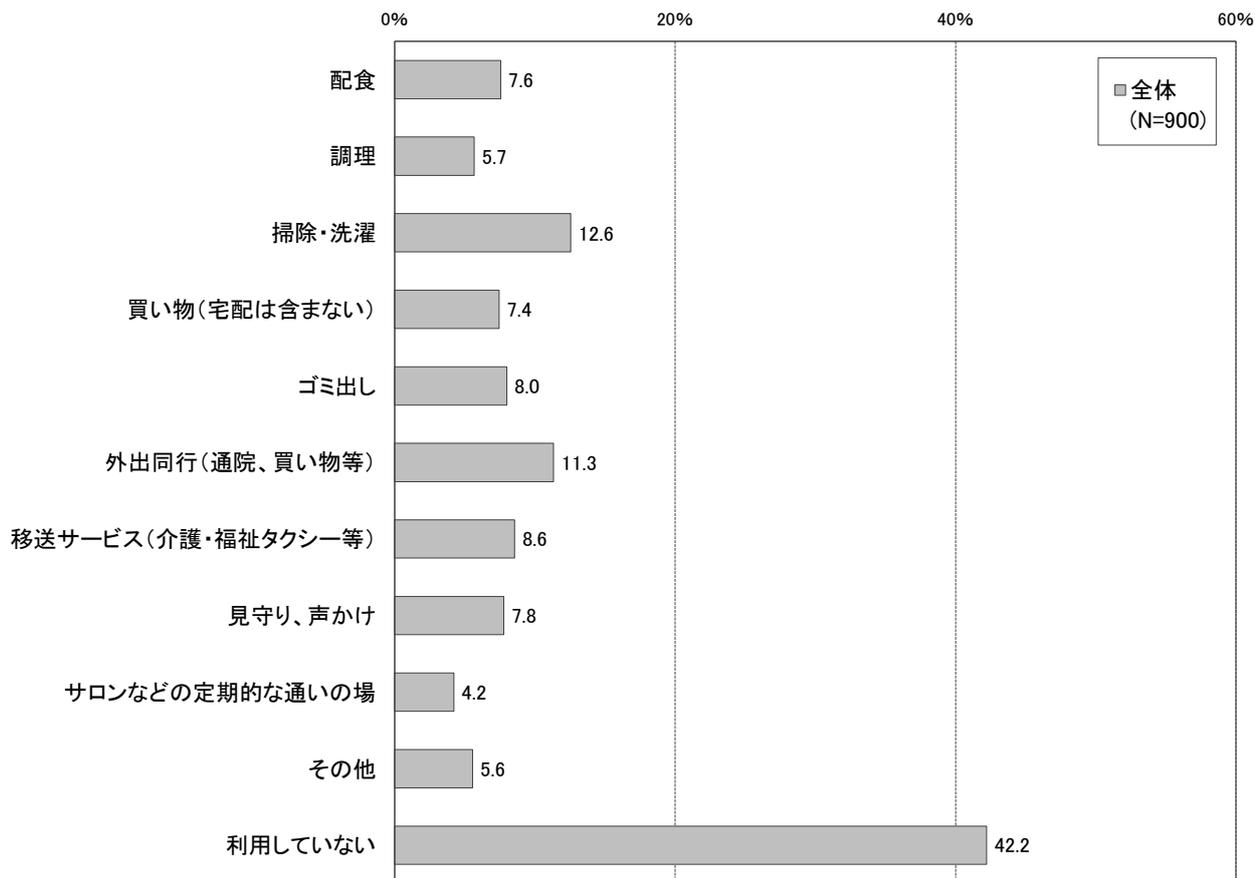
第2章 調査結果

(7) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

A票問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

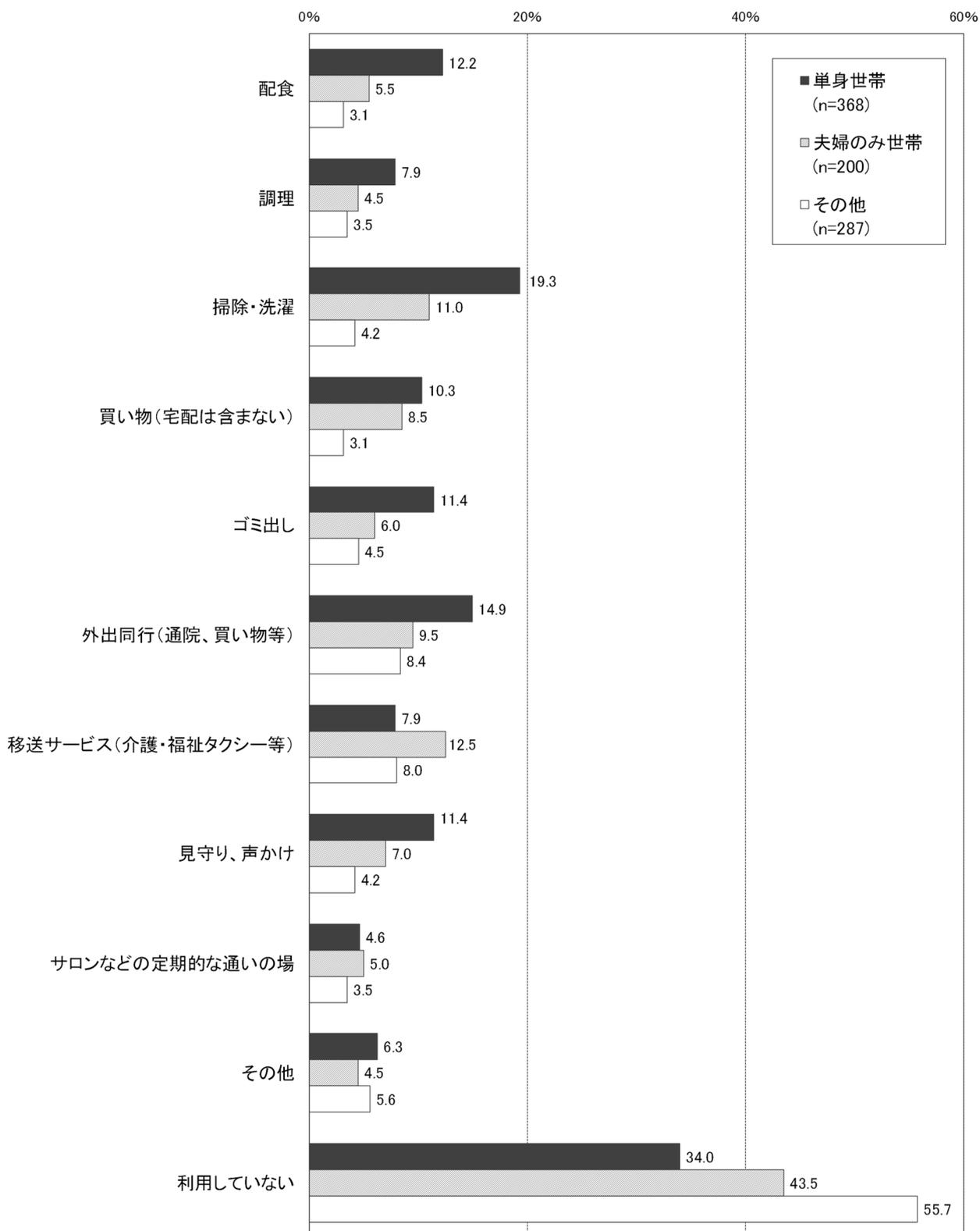
介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」（42.2%）が最も高く、次いで「掃除・洗濯」（12.6%）、「外出同行（通院、買い物等）」（11.3%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（8.6%）となっている。

図表－17 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



世帯類型別にみると、同居世帯に比べて単身世帯の方が、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用率が高い傾向にあり、具体的な支援・サービスとしては「掃除・洗濯」(19.3%)、「外出同行(通院、買い物等)」(14.9%)、「配食」(12.2%)、「ゴミ出し」「見守り・声かけ」(11.4%)の順で割合が高くなっている。

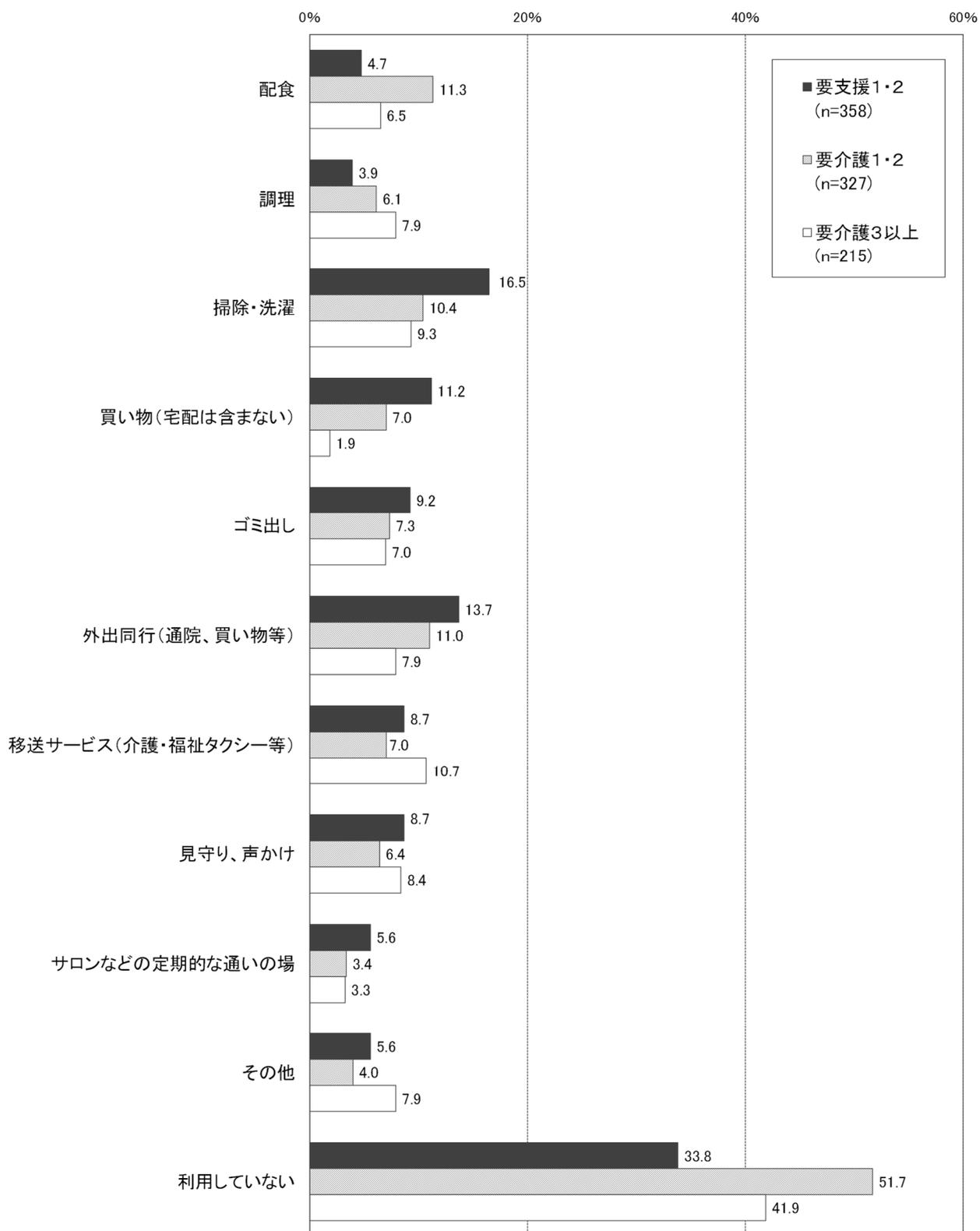
図表－18 世帯類型別 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況



第2章 調査結果

要介護度別にみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は要介護3以上の重度者で利用率が10.7%と高い。その他のサービスは軽中度の人の利用率が高い項目が多くなっている。

図表－19 要介護度別 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

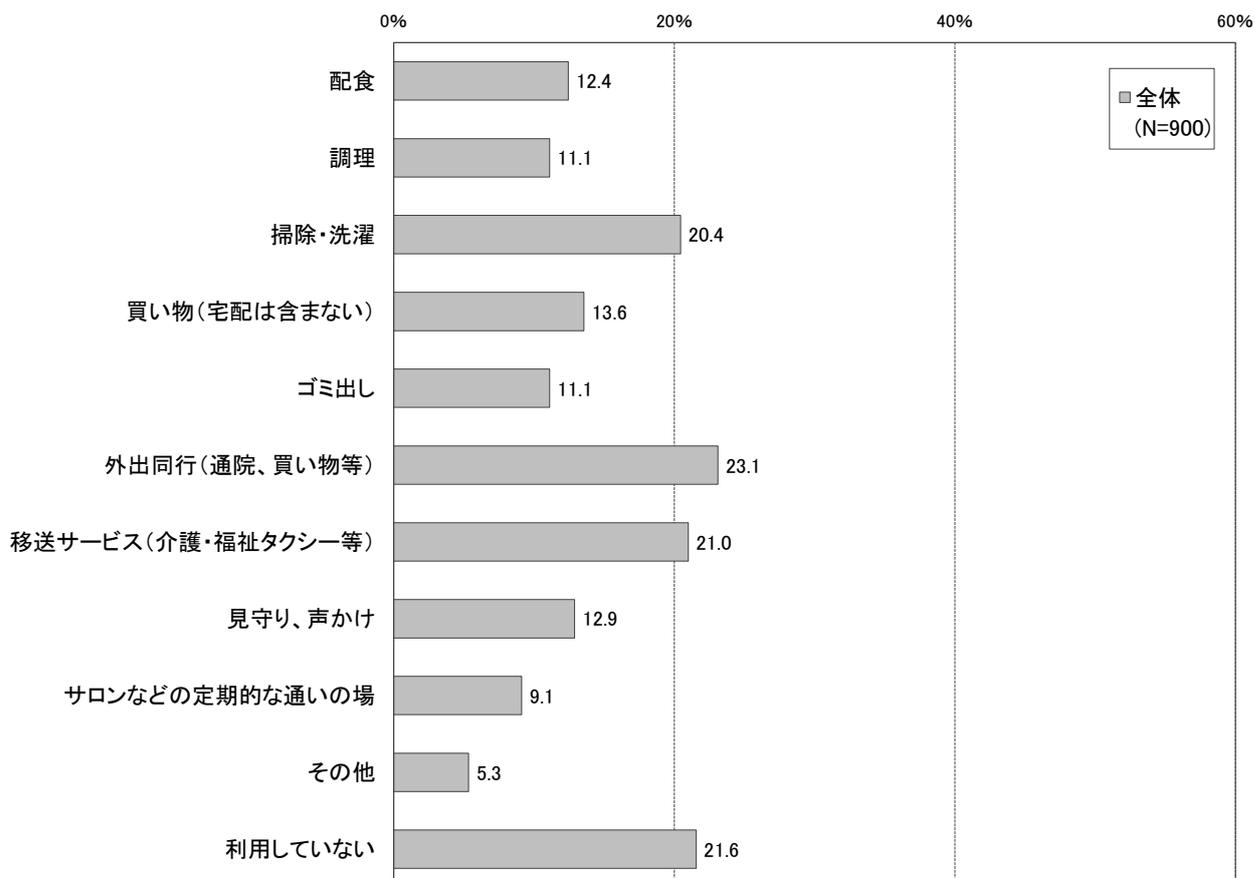


(8) 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス

A票問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、更なる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスでは、「外出同行（通院、買い物等）」（23.1%）が最も高く、次いで、「利用していない」（21.6%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（21.0%）、「掃除・洗濯」（20.4%）、「買い物（宅配は含まない）」（13.6%）となっている。

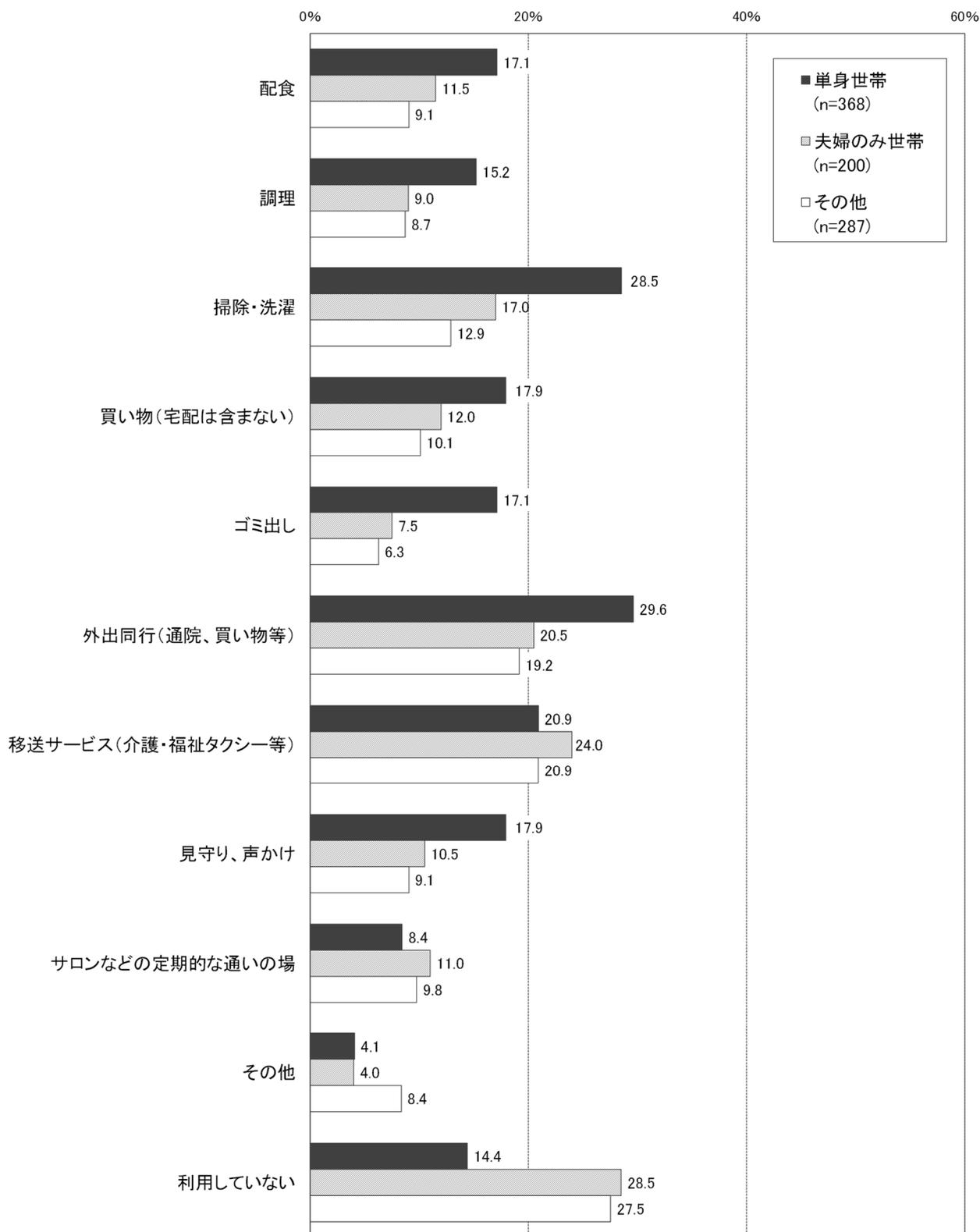
図表－20 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス



第2章 調査結果

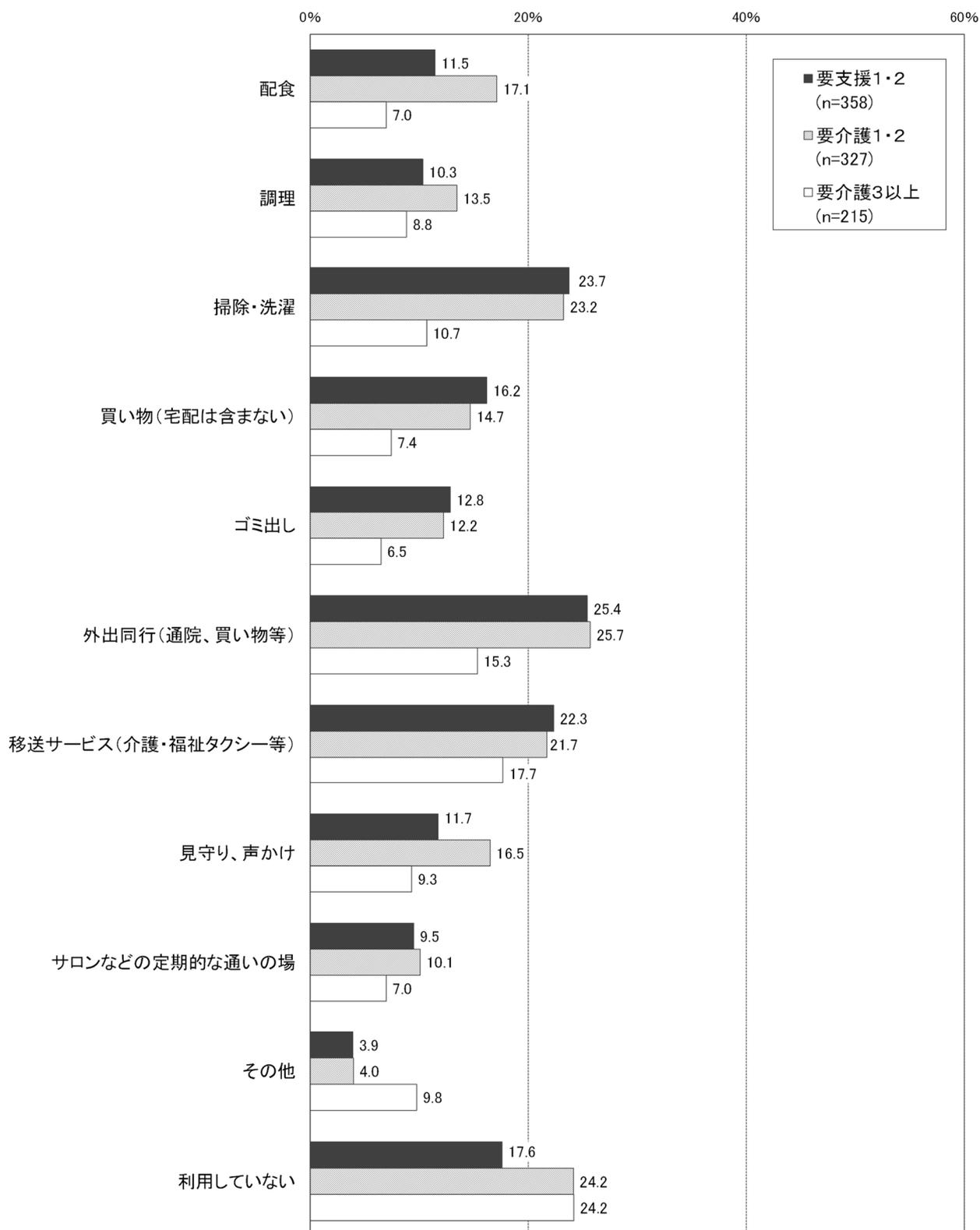
世帯類型別にみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「サロンなどの定期的な通いの場」「その他」を除く全てのサービスで、同居世帯より単身世帯の方が、今後の在宅生活の継続に必要な割合が高い。

図表－2 1 世帯類型別 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス



要介護度別にみると、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は軽度であるほど、今後の在宅生活の継続に必要なと感じる割合が高い。また、要介護1・2では、「配食」「調理」「外出同行（通院、買い物等）」「見守り、声かけ」「サロンなどの定期的な通いの場」が他の要介護度に比べて高くなっている。

図表－22 要介護度別 今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービス



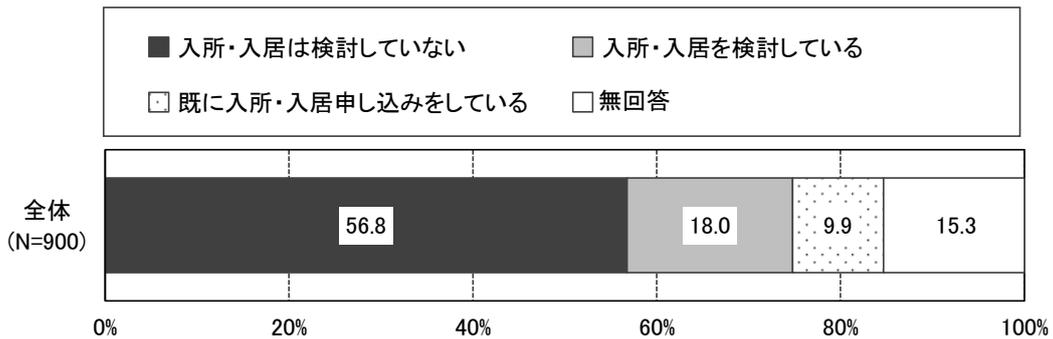
第2章 調査結果

(9) 施設等への入所・入居の検討状況

A 票問10 現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

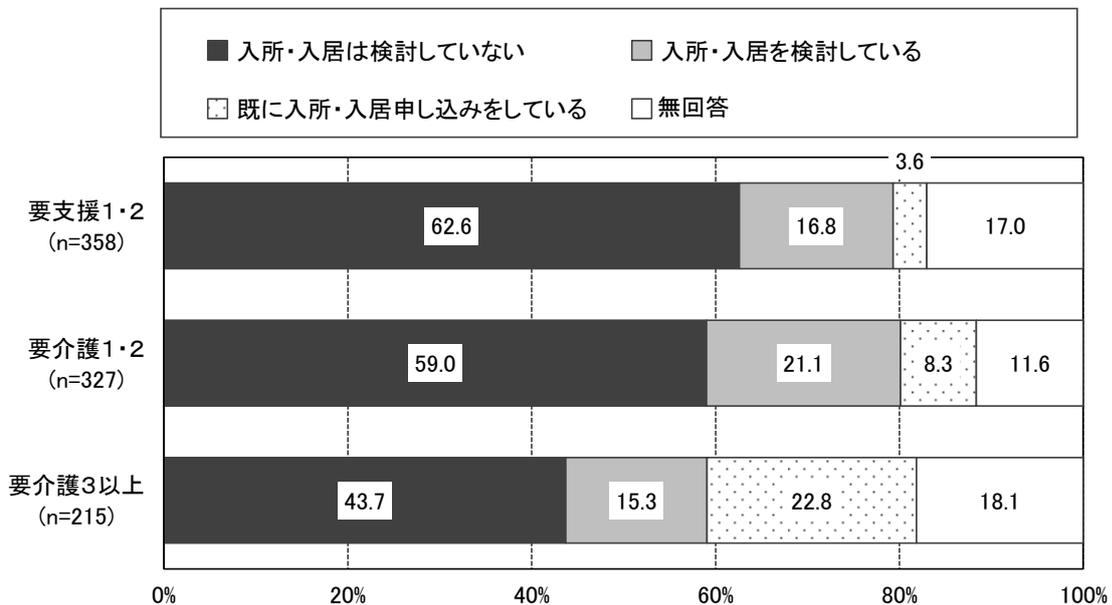
施設等への入所・入居の検討状況では、「入所・入居は検討していない」(56.8%)が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(18.0%)、「既に入所・入居申し込みをしている」(9.9%)となっている。「入所・入居を検討している」と「既に入所・入居申し込みをしている」を合わせると27.9%を占める。

図表－23 施設等への入所・入居の検討状況



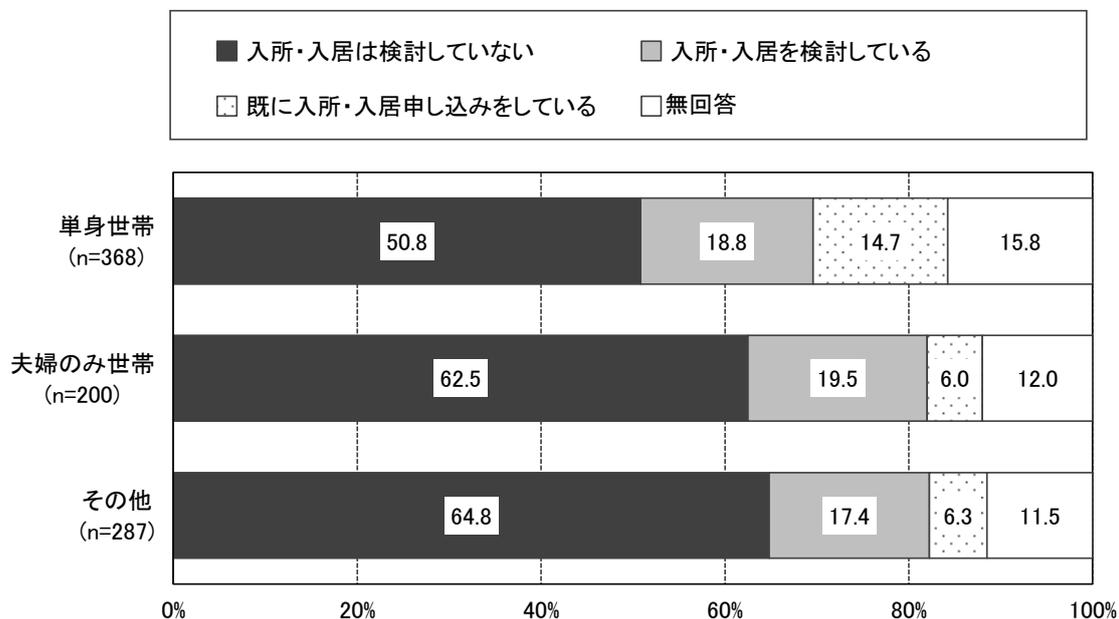
要介護度別にみると、重度であるほど「既に入所・入居申し込みをしている」の割合が高い。

図表－24 要介護度別 施設等への入所・入居の検討状況



世帯類型別にみると、単身世帯は同居世帯に比べて「既に入所・入居申し込みをしている」の割合が高い。

図表－25 世帯類型別 施設等への入所・入居の検討状況



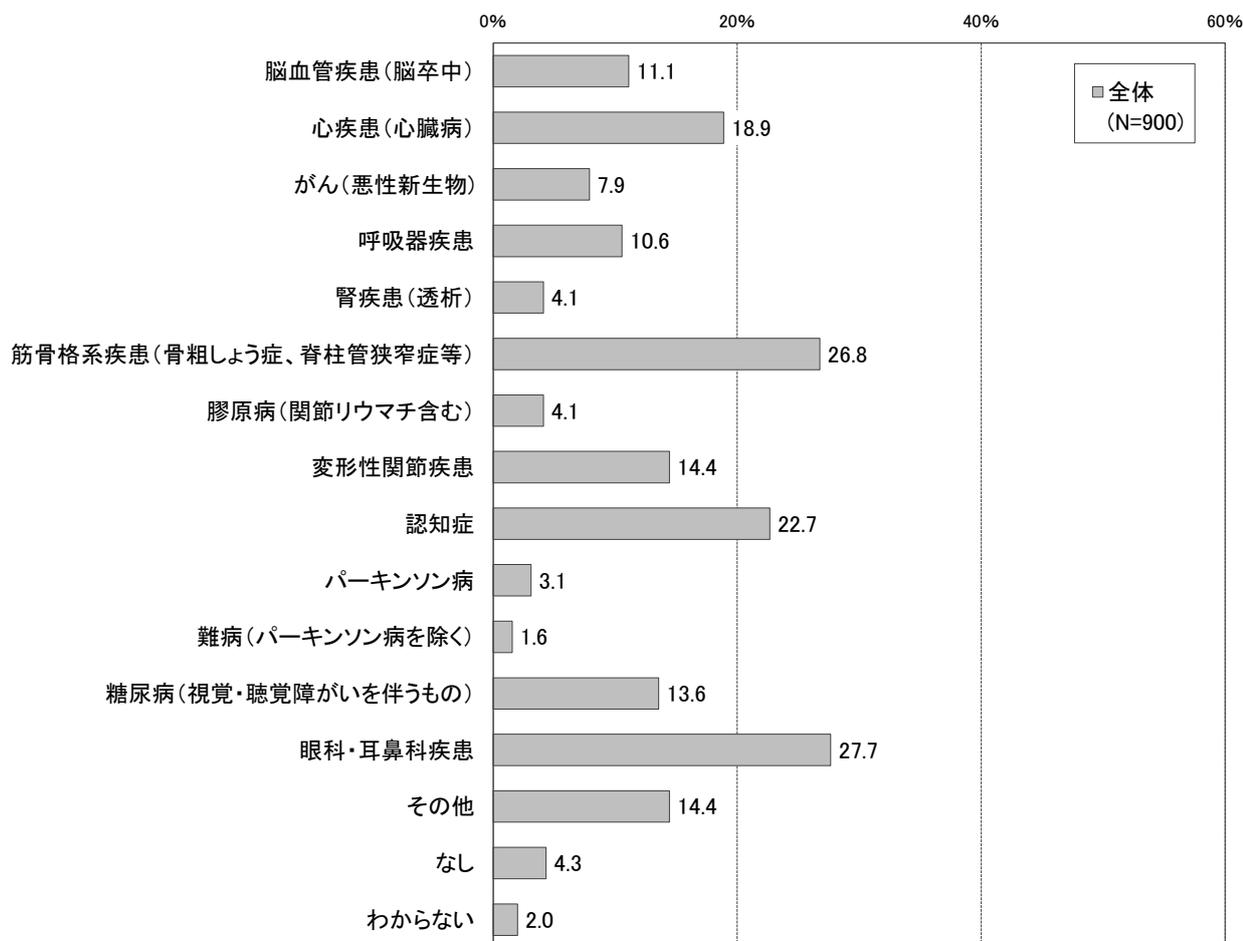
第2章 調査結果

(10) 現在抱えている傷病

A票問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）

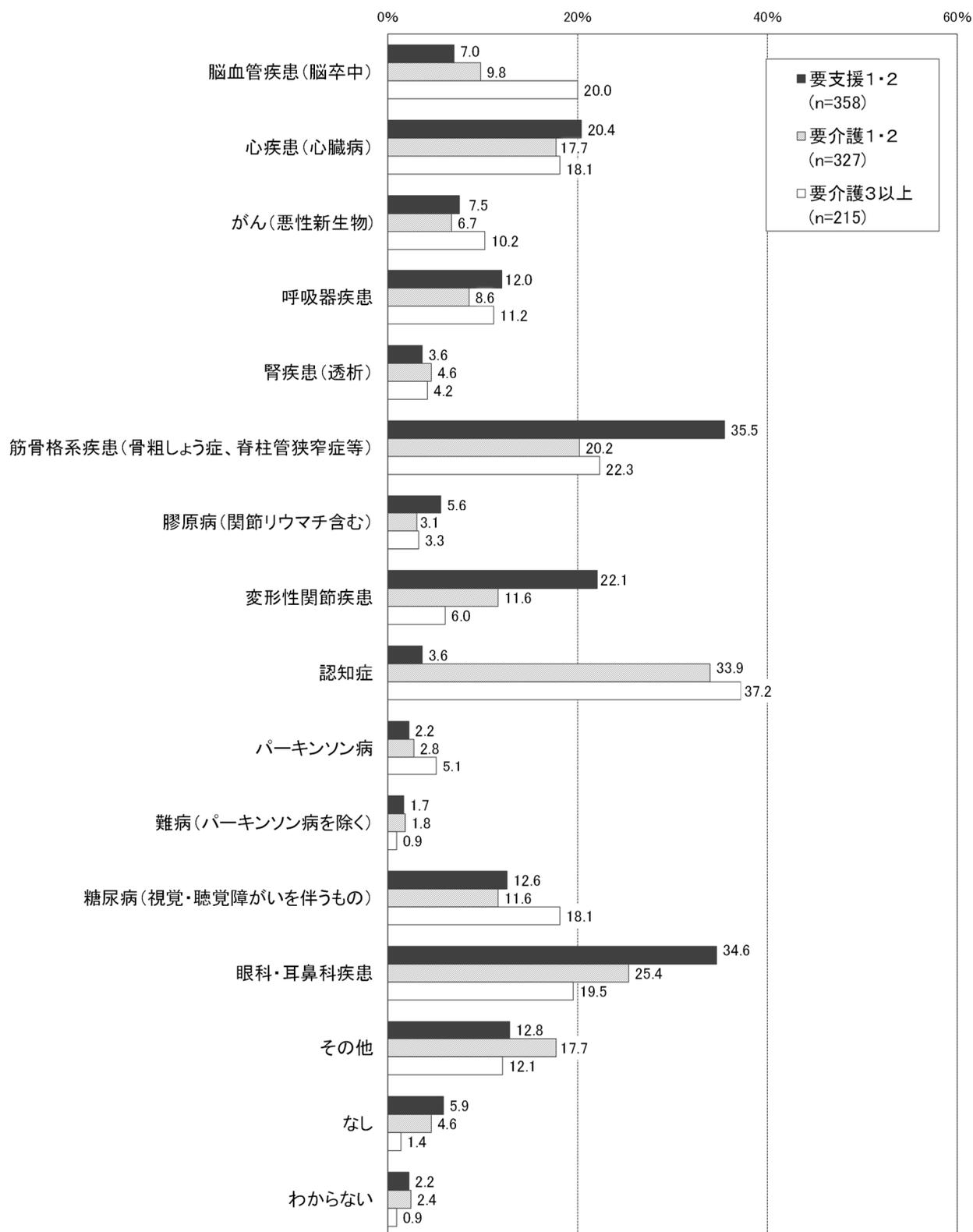
現在抱えている傷病では、「眼科・耳鼻科疾患」（27.7%）が最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（26.8%）、「認知症」（22.7%）、「心疾患（心臓病）」（18.9%）、「変形性関節疾患」「その他」（14.4%）、となっている。

図表－26 現在抱えている傷病



要介護度別にみると、「変形性関節疾患」「眼科・耳鼻科疾患」は軽度であるほど有病率が高く、「脳血管疾患（脳卒中）」「認知症」「パーキンソン病」は重度であるほど有病率が高い。

図表－27 要介護度別 現在抱えている傷病



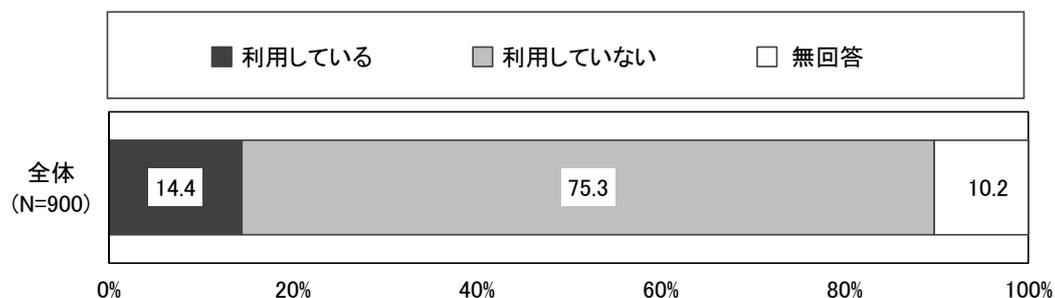
第2章 調査結果

(11) 訪問診療の利用状況

A票問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

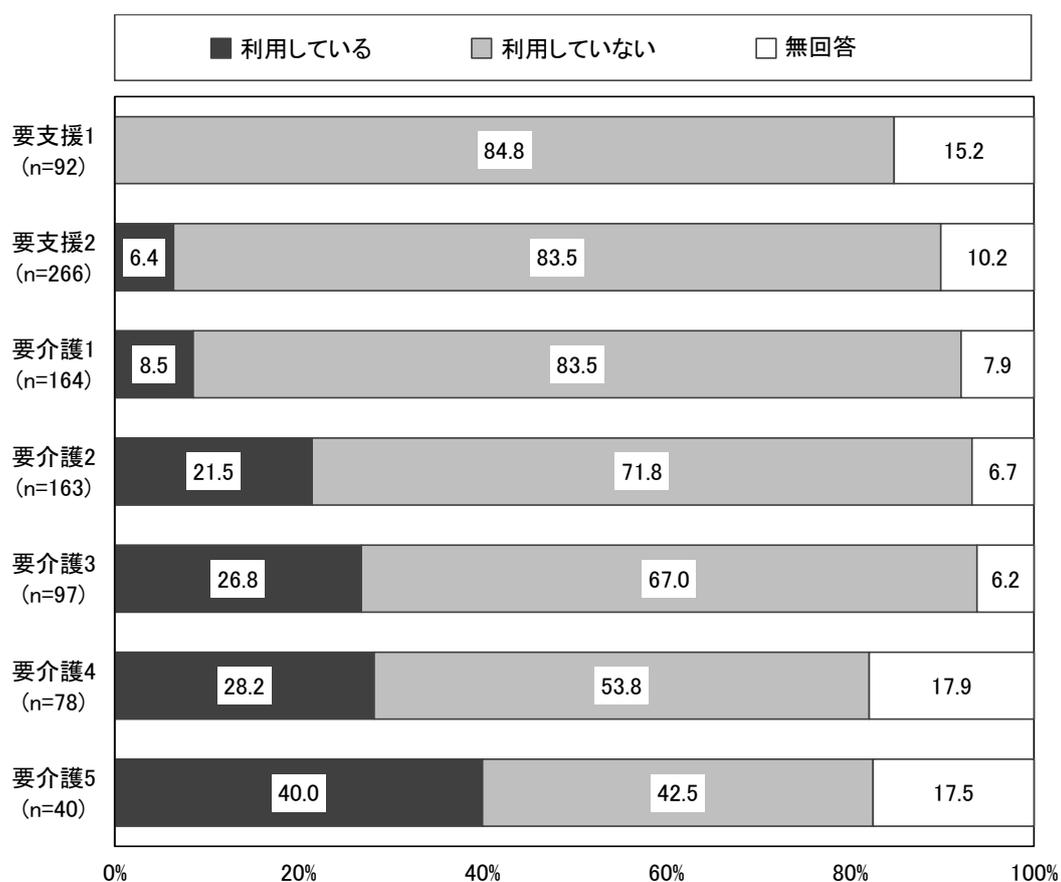
訪問診療の利用状況では、「利用していない」が75.3%、「利用している」が14.4%となっており、「利用していない」割合が高い。

図表－28 訪問診療の利用状況



要介護度別にみると、重度であるほど訪問診療の利用率が高い。

図表－29 要介護度別 訪問診療の利用状況

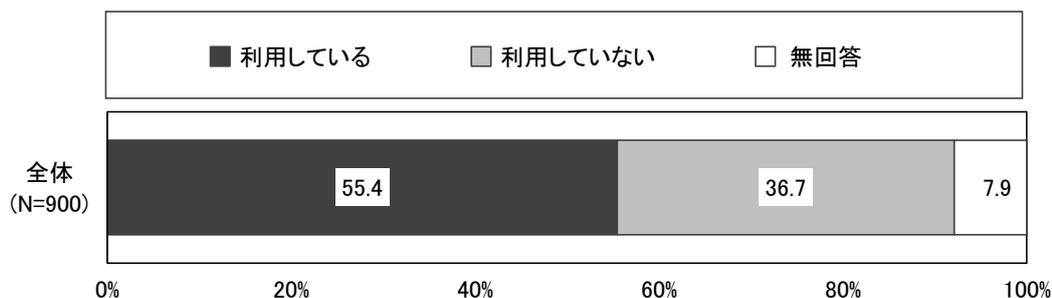


(12) 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況

A票問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか
(1つを選択)

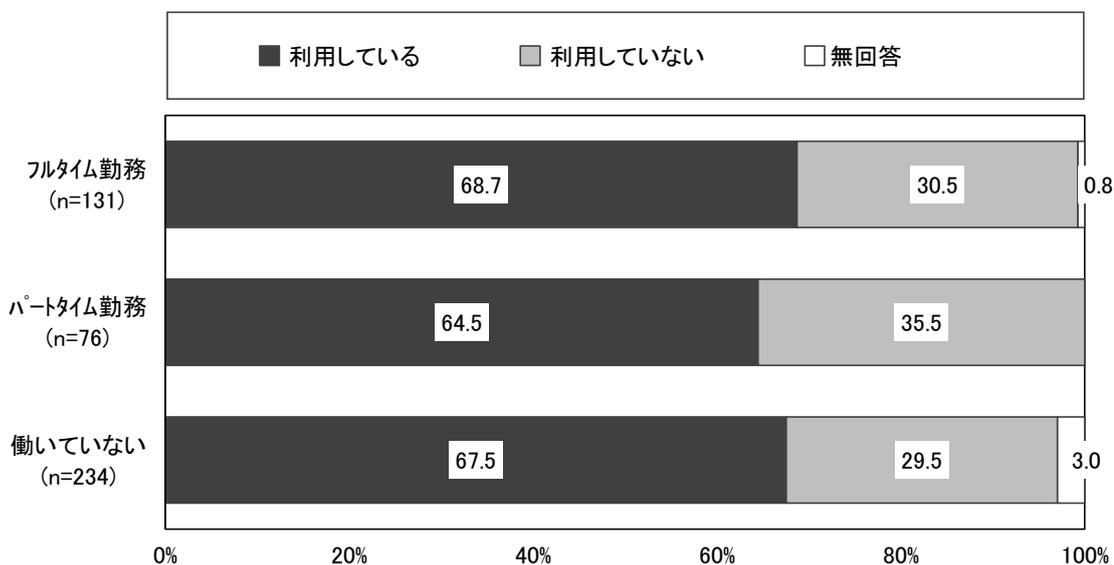
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況では、「利用している」が55.4%、「利用していない」が36.7%となっており、「利用している」割合が高い。

図表-30 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況



介護者の就労状況別では、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外のサービスの利用状況は、いずれも「利用している」の割合が6割以上となっている。

図表-31 介護者の就労状況別
住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービス利用状況



第2章 調査結果

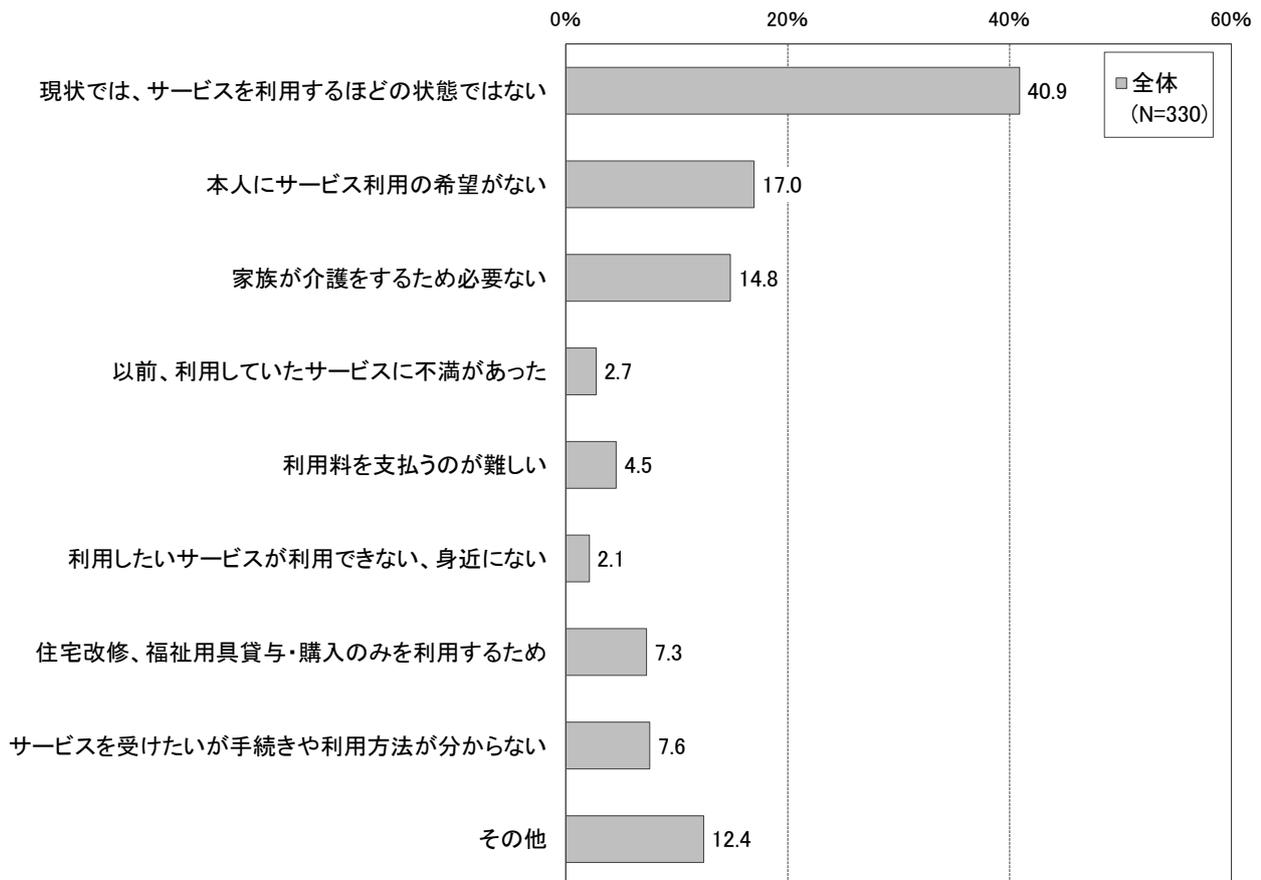
(13) 介護保険サービスを利用していない理由

A票問13で「2. 利用していない」の方のみ

A票問14 介護保険サービスを利用していない理由は、何ですか（複数選択可）

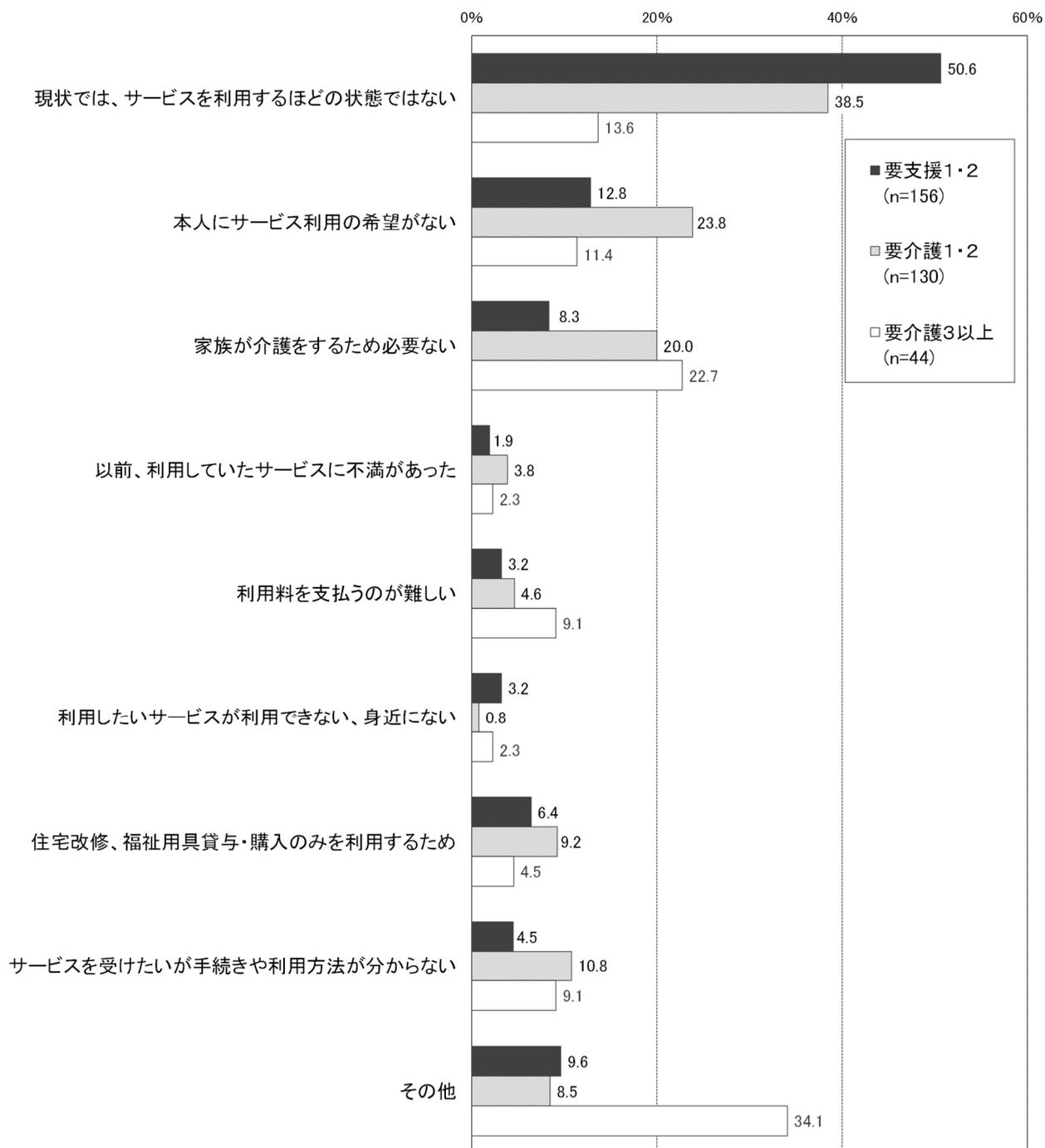
介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（40.9%）が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（17.0%）、「家族が介護をするため必要ない」（14.8%）となっている。また、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」との回答も7.6%みられる。

図表－32 介護保険サービスを利用していない理由



要介護度別にみると、軽度であるほど「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高い。また、重度になると「家族が介護をするため必要ない」「利用料を支払うのが難しい」の割合が高い。

図表-33 要介護度別 介護保険サービスを利用していない理由



第2章 調査結果

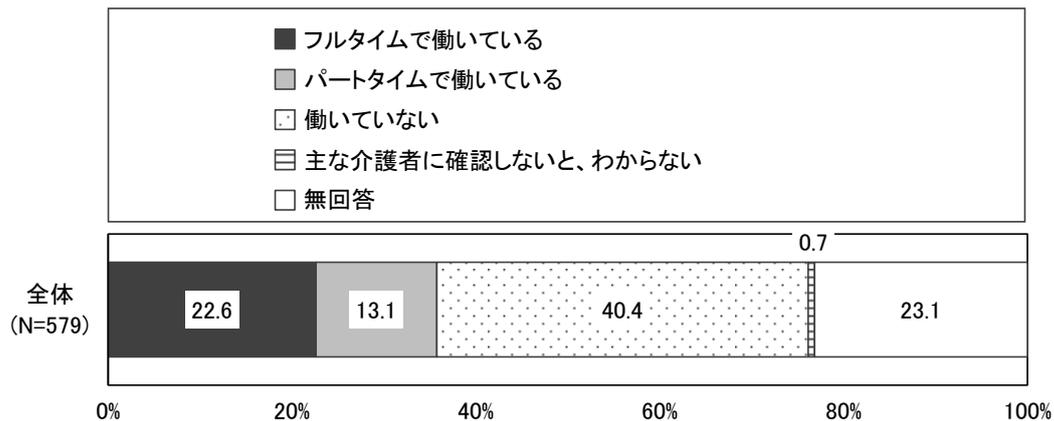
3. 主な介護者の就労と今後の介護について

(1) 主な介護者の就労状況

B票問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の就労状況では、「働いていない」（40.4%）が最も高く、次いで「フルタイムで働いている」（22.6%）、「パートタイムで働いている」（13.1%）となっており、主な介護者が何らかの職に就いている割合は35.7%となっている。

図表－34 主な介護者の就労状況

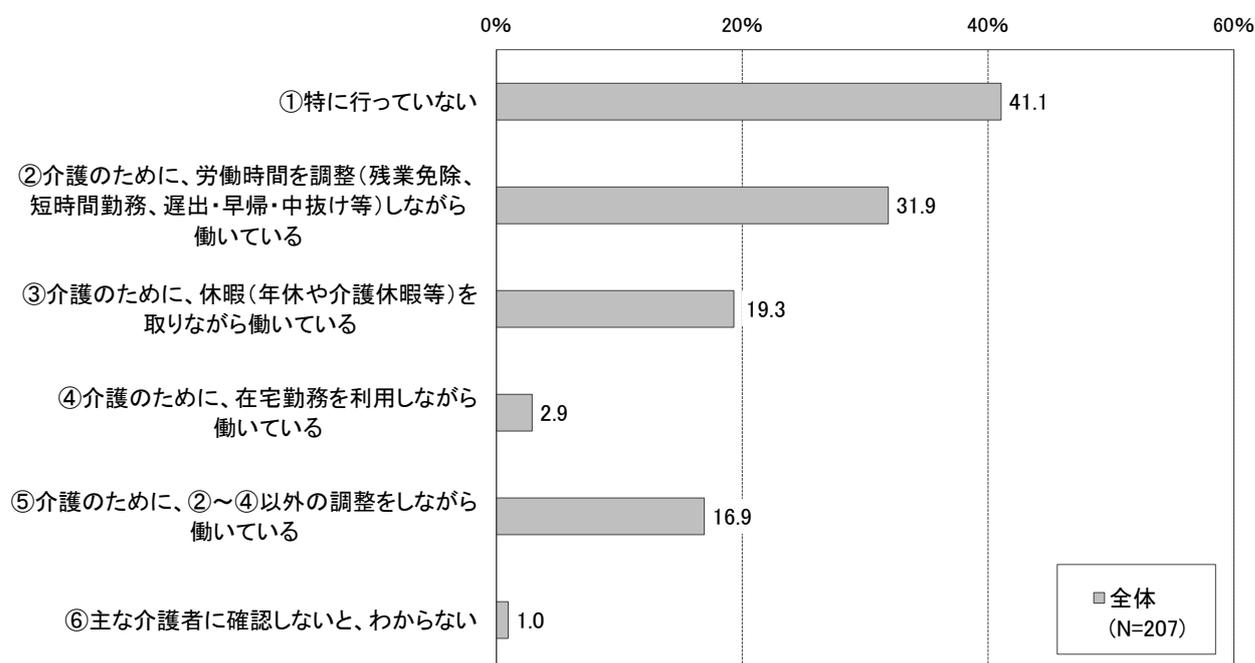


(2) 働き方の調整等の有無

B票問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ
B票問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか（複数選択可）

働き方の調整等の有無では、「①特に行っていない」(41.1%)が最も高く、次いで「②介護のために、労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)しながら働いている」(31.9%)、「③介護のために、休暇(年休や介護休暇等)を取りながら働いている」(19.3%)、「⑤介護のために、②～④以外の調整をしながら働いている」(16.9%)、「④介護のために、在宅勤務を利用しながら働いている」(2.9%)となっている。

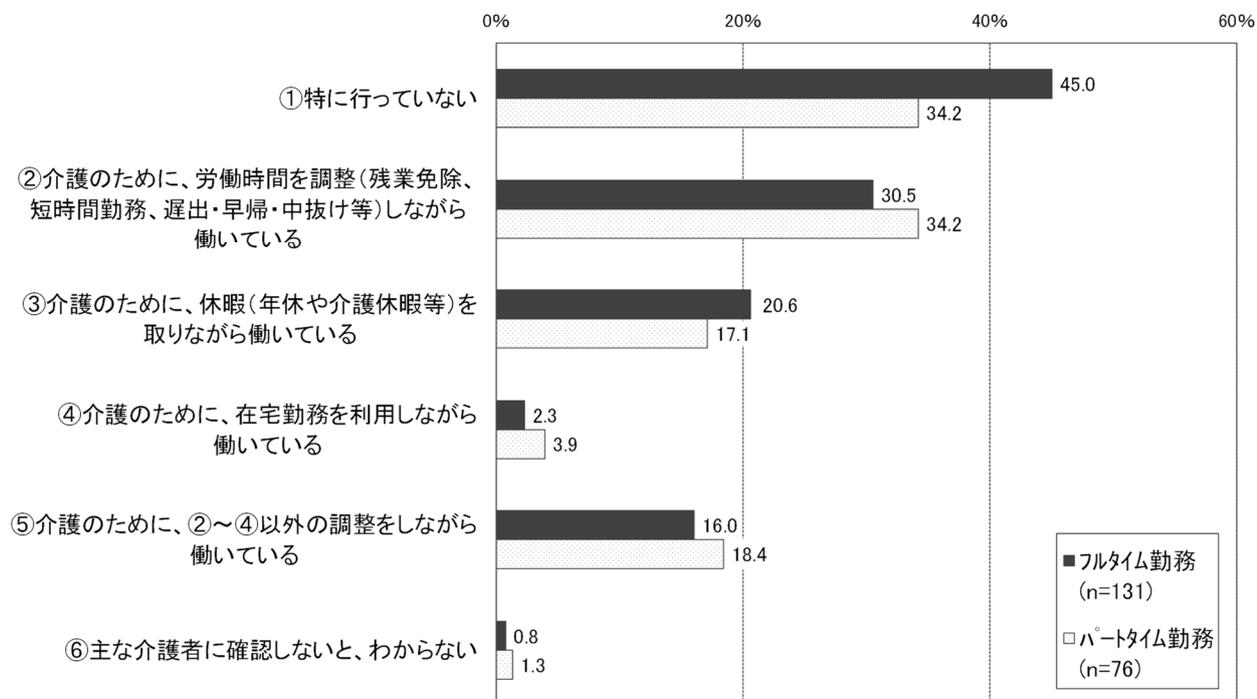
図表－35 働き方の調整等の有無



第2章 調査結果

主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務は、パートタイム勤務に比べて「①特に行っていない」「③介護のために、休暇（年休や介護休暇等）を取りながら働いている」の割合が高い。一方、パートタイム勤務は、フルタイム勤務に比べ「②介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら働いている」「④介護のために、在宅勤務を利用しながら働いている」「⑤介護のために、②～④以外の調整をしながら働いている」の割合が高い。

図表－36 主な介護者の就労状況別 働き方の調整等の有無

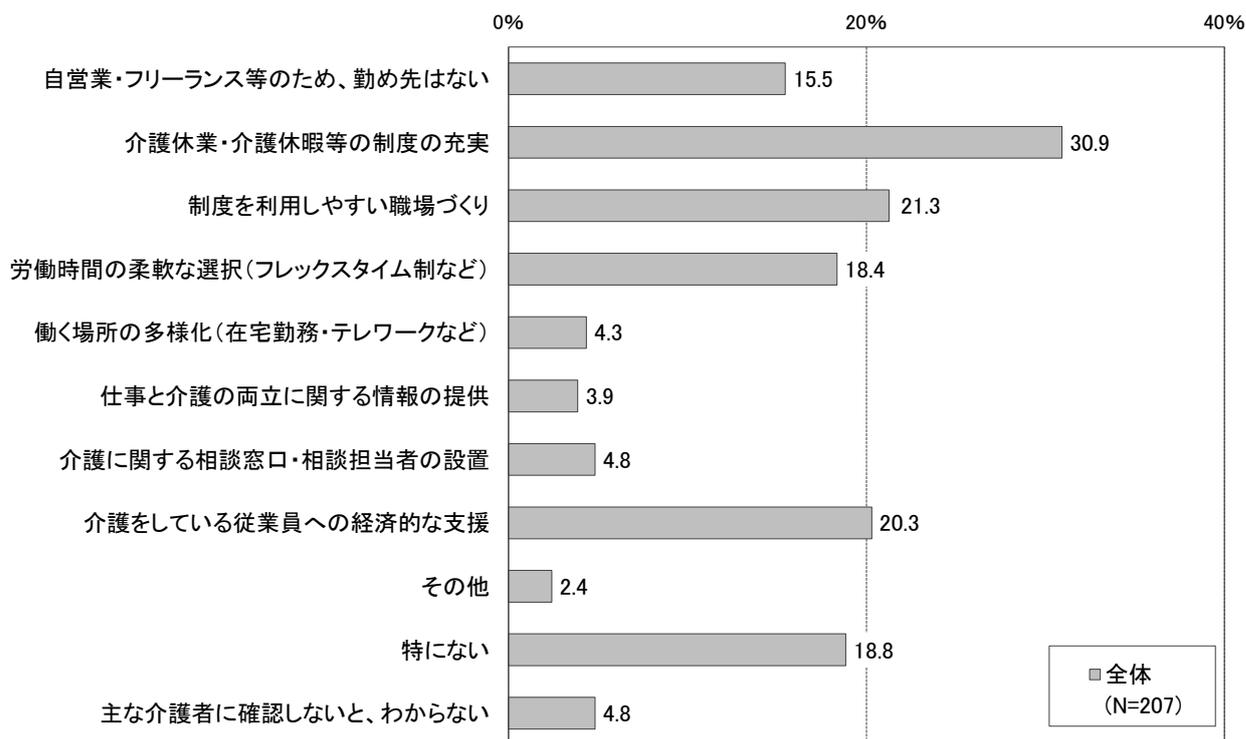


(3) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援

B票問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ
B票問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(30.9%)が最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」(21.3%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(20.3%)となっている。「特にない」は18.8%となっている。

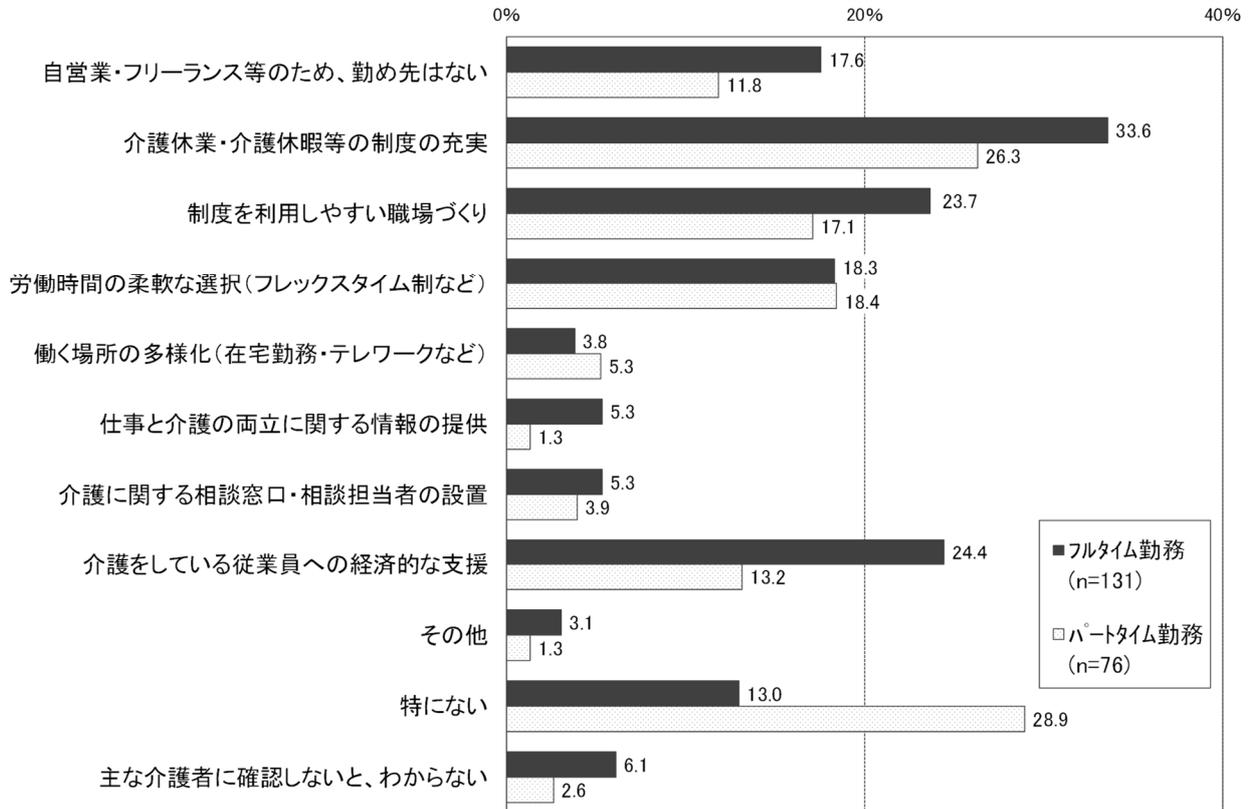
図表－37 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援



第2章 調査結果

主な介護者の就労状況別にみると、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」「介護している従業員への経済的な支援」「その他」の項目で、フルタイム勤務の方がパートタイム勤務に比べて仕事と介護の両立に効果があると思う割合が高い。

図表－38 主な介護者の就労状況別 仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援



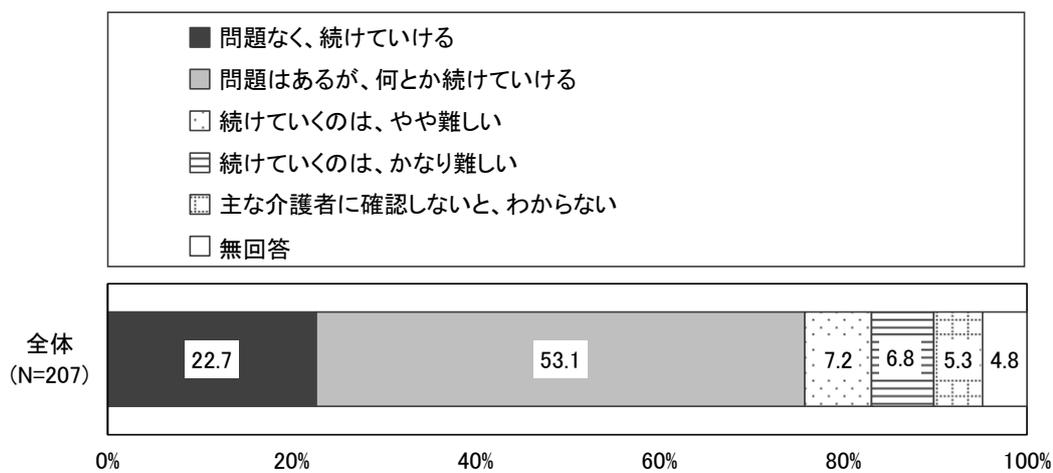
(4) 今後の介護継続意向

B票問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ
B票問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

主な介護者が今後も働きながら介護を継続できるかたずねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」(53.1%)が最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(22.7%)、「続けていくのは、やや難しい」(7.2%)、「続けていくのは、かなり難しい」(6.8%)となっている。

この結果、今後も働きながら介護を続けていくことが『難しい』(「続けていくのは、やや難しい」+「続けていくのは、かなり難しい」と考える人の割合は14.0%を占めている。

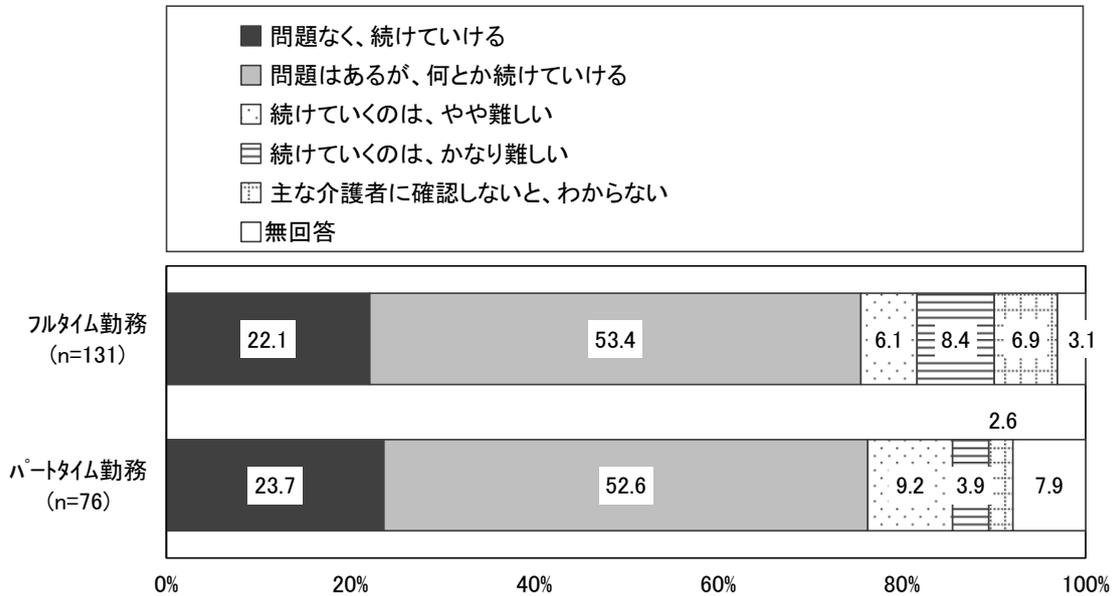
図表－39 今後の介護継続意向



第2章 調査結果

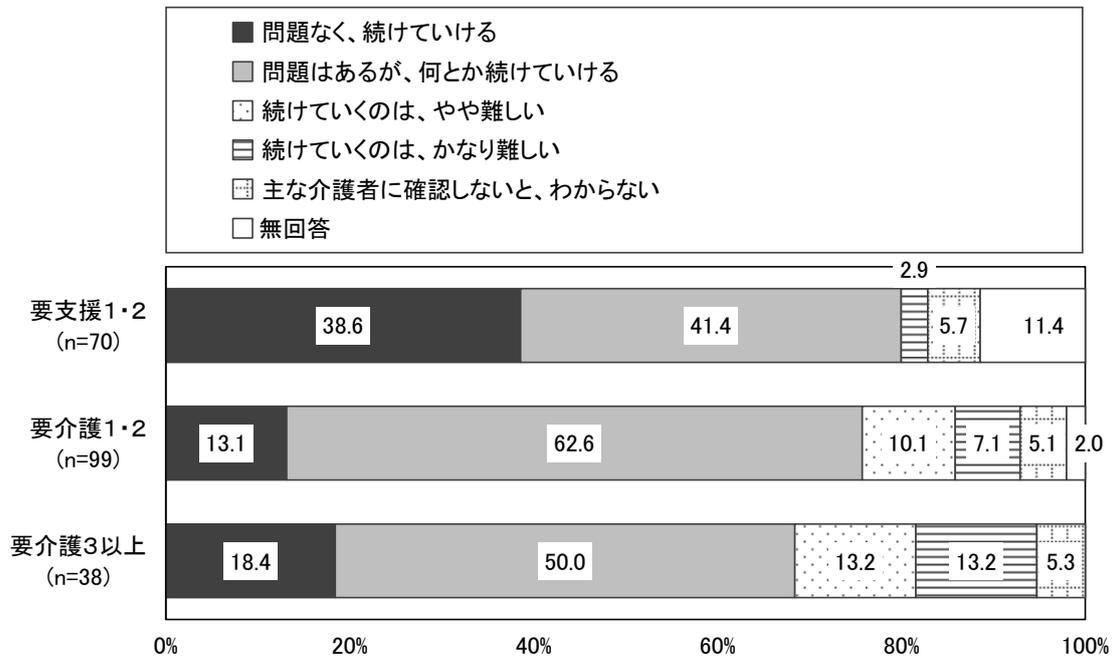
主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務の方が、パートタイム勤務に比べて『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）と考える人の割合が14.5%とやや高い。

図表－40 主な介護者の就労状況別 今後の介護継続意向



要介護度別にみると、重度であるほど『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」＋「続けていくのは、かなり難しい」）と考える人の割合が高くなり、要介護3以上では26.4%となっている。

図表－41 要介護度別 今後の介護継続意向【フルタイム勤務＋パートタイム勤務】

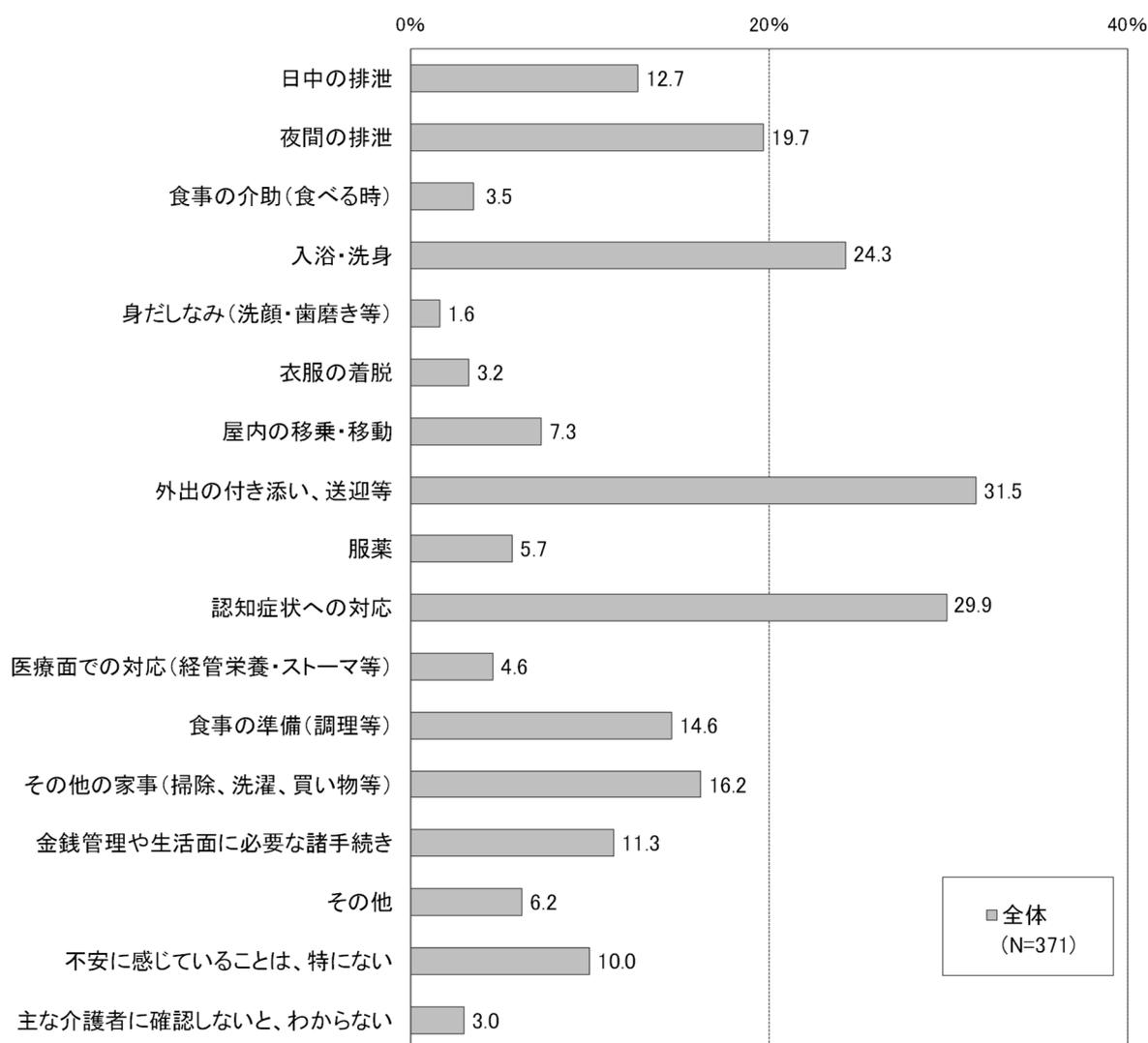


(5) 主な介護者が不安に感じる介護

B票問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているかどうかは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者が不安に感じる介護では、「外出の付き添い、送迎等」（31.5%）が最も高く、次いで「認知症状への対応」（29.9%）、「入浴・洗身」（24.3%）、「夜間の排泄」（19.7%）となっている。

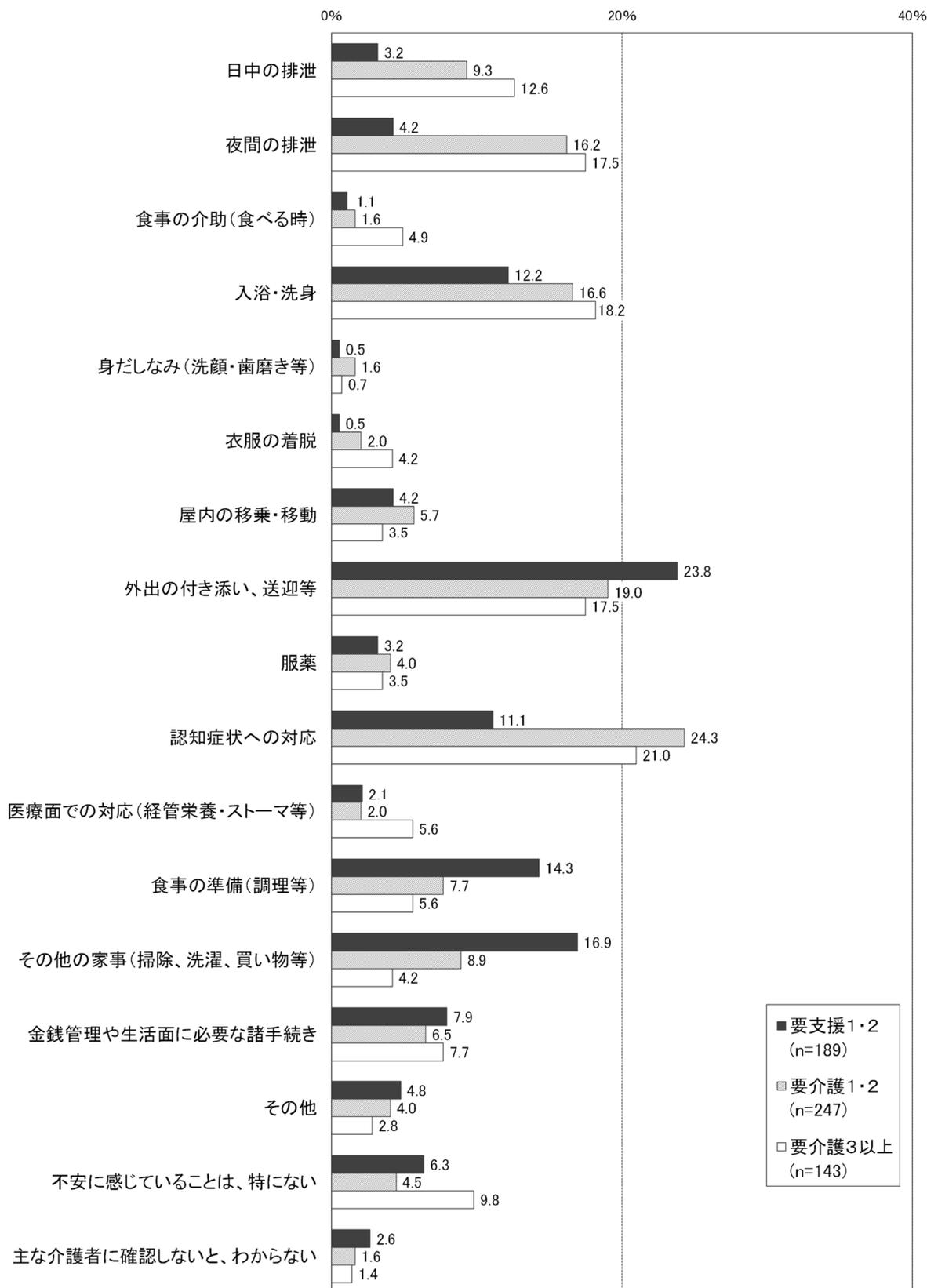
図表-42 主な介護者が不安に感じる介護



第2章 調査結果

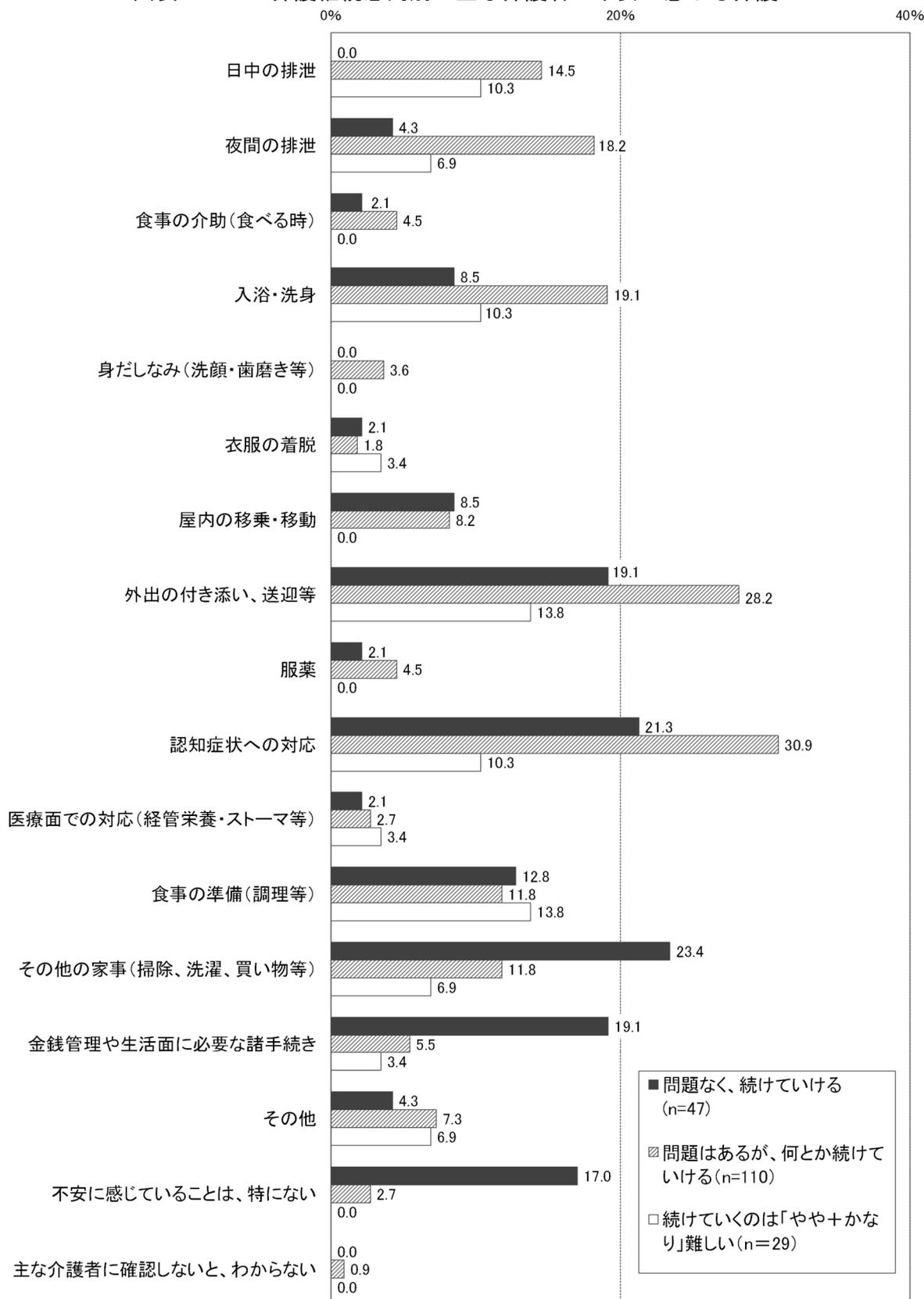
要介護度別にみると、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「その他」は要介護度が軽度であるほど、介護者が不安を感じる割合が高い。一方、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「衣服の着脱」は要介護度が重度であるほど、介護者が不安を感じる割合が高い。

図表－43 要介護度別 主な介護者が不安を感じる介護



介護継続意向別にみると、「問題はあるが、何とか続けていける」では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「認知症状への対応」「その他」を不安に感じる割合が高くなっている。また、『続けていくのは「やや+かなり」難しい』では、「衣服の着脱」「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」「食事の準備（調理等）」を不安に感じる割合が高くなっている。

図表－44 介護継続意向別 主な介護者が不安に感じる介護



第2章 調査結果

4. 市独自質問（今後の介護希望・終末期について）

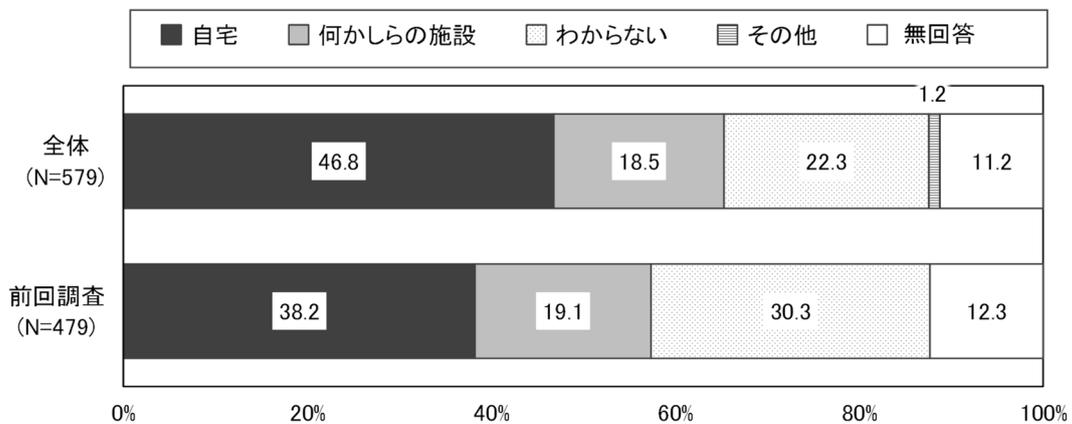
(1) 最期をどこで迎えたいか

B票問6 あなたは、人生の最期を迎えるとしたら、どこを希望していますか。
事情は考慮せず、純粋にあなたが望む場所をご回答ください。（1つを選択）

最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」(46.8%)が最も高く、次いで「わからない」(22.3%)、「何かしらの施設」(18.5%)となっている。また、「その他」は、具体的に「本人の意思が確認できない」、「その時の状態でしか考えられない」等の回答があった。また、「自宅」(46.8%)は前回調査(38.2%)より8.6ポイント増加している。

要介護度別にみると、要支援1では「何かしらの施設」(36.1%)が最も高く、要支援2以上では「自宅」が45.0%以上と最も高くなっている。

図表-45 最期をどこで迎えたいか



※前回調査には「その他」の選択肢なし

図表-46 要介護度別 最期をどこで迎えたいか

	調査数	自宅	何かしらの施設	わからない	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	579	579	46.8	18.5	22.3	1.2	11.2
要介護度	要支援1	36	27.8	36.1	19.4	2.8	13.9
	要支援2	153	45.1	20.3	23.5	0.7	10.5
	要介護1	127	49.6	18.9	21.3	0.8	9.4
	要介護2	120	49.2	19.2	22.5	0.0	9.2
	要介護3	70	50.0	10.0	25.7	1.4	12.9
	要介護4	53	49.1	15.1	22.6	1.9	11.3
	要介護5	20	45.0	5.0	10.0	10.0	30.0

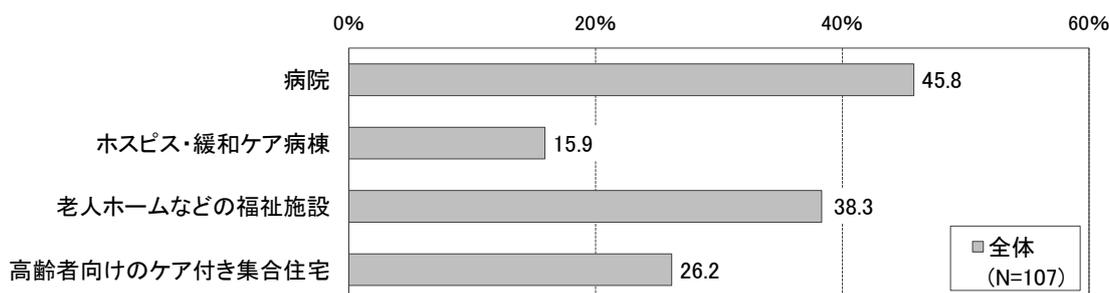
(2) どのような施設で最期を迎えたいか

B票問6で「2.何かしらの施設」の方のみ
B票問6-① どのような施設ですか（複数選択可）

施設で最期を迎えたい人が、どのような施設で迎えたいかについては、「病院」（45.8%）が最も高く、次いで「老人ホームなどの福祉施設」（38.3%）、「高齢者向けのケア付き集合住宅」（26.2%）、「ホスピス・緩和ケア病棟」（15.9%）となっている。

要介護度別にみると、要支援2では「ホスピス・緩和ケア病棟」（25.8%）が他の要介護度に比べて高くなっている。

図表－47 どのような施設で最期を迎えたいか



図表－48 要介護度別 どのような施設で最期を迎えたいか

	調査数	病院	ホスピス・緩和	老人福祉施設など	高齢者向け集合住宅	
		(人)	(%)	(%)	(%)	
全体	107	45.8	15.9	38.3	26.2	
要介護度	要支援1	13	46.2	7.7	46.2	15.4
	要支援2	31	38.7	25.8	32.3	25.8
	要介護1	24	45.8	16.7	50.0	37.5
	要介護2	23	39.1	17.4	30.4	21.7
	要介護3	7	57.1	0.0	42.9	28.6
	要介護4	8	75.0	0.0	25.0	25.0
	要介護5	1	100.0	0.0	100.0	0.0

第2章 調査結果

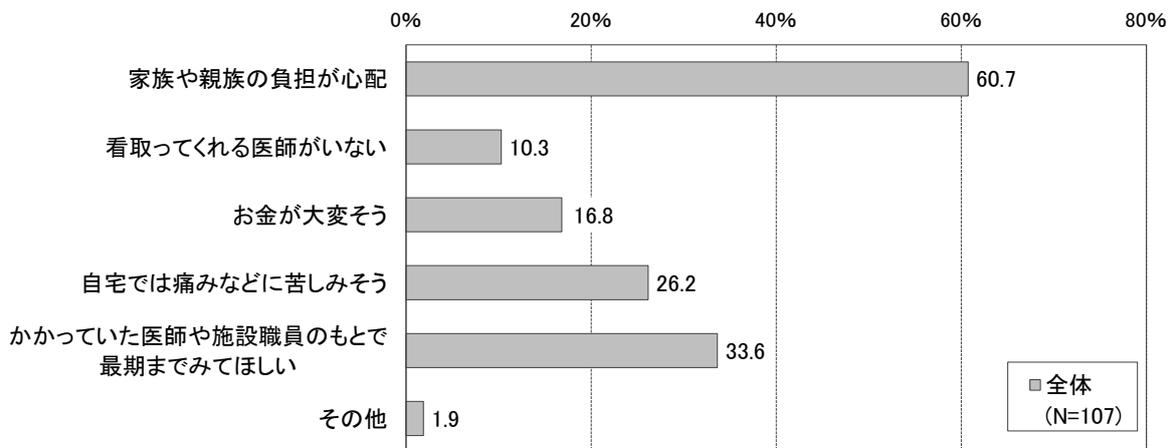
(3) 施設を選択した理由

B票問6で「2. 何かしらの施設」の方のみ
B票問6-② 施設を選択した理由は、何ですか（複数選択可）

施設で最期を迎えたい人が、施設を選択した理由については、「家族や親族の負担が心配」(60.7%)が最も高く、次いで「かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい」(33.6%)、「自宅では痛みなどに苦しみそう」(26.2%)、「お金が大変そう」(16.8%)、「看取ってくれる医師がいない」(10.3%)となっている。

要介護度別にみると、要介護1では「お金が大変そう」(25.0%)が他の要介護度に比べて高くなっている。

図表－49 施設を選択した理由



図表－50 要介護度別 施設を選択した理由

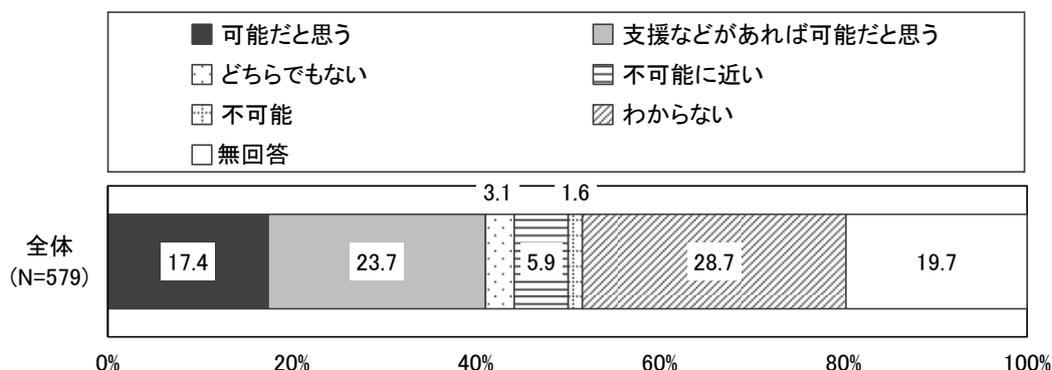
	調査数	家族や親族の負担が心配	看取ってくれる医師がいない	お金が大変そう	自宅では痛みなどに苦しみそう	かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	107	60.7	10.3	16.8	26.2	33.6	1.9	
要介護度	要支援1	13	76.9	0.0	15.4	0.0	30.8	0.0
	要支援2	31	48.4	6.5	16.1	45.2	32.3	3.2
	要介護1	24	70.8	8.3	25.0	16.7	37.5	0.0
	要介護2	23	56.5	13.0	17.4	30.4	30.4	0.0
	要介護3	7	71.4	28.6	0.0	42.9	28.6	14.3
	要介護4	8	50.0	12.5	12.5	0.0	37.5	0.0
	要介護5	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(4) 希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にあるか

B票問6-③ あなたは、希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にありますか
(1つを選択)

希望する場所で最期を迎えることが可能な状況については、「わからない」(28.7%)が最も高く、次いで「支援などがあれば可能だと思う」(23.7%)、「可能だと思う」(17.4%)となっている。『可能だと思う』(「可能だと思う」+「支援などがあれば可能だと思う」)と考える人の割合は41.1%、『不可能だと思う』(「不可能に近い」+「不可能」)と考える人の割合は7.5%となっている。
要介護度別にみると、要介護3では「可能だと思う」(8.6%)が他の要介護度に比べて低くなっている。

図表-5.1 希望する場所で最期を迎えることが可能な状況にあるか



図表-5.2 要介護度別 希望する場所で最期を迎えることが可能な状況にあるか

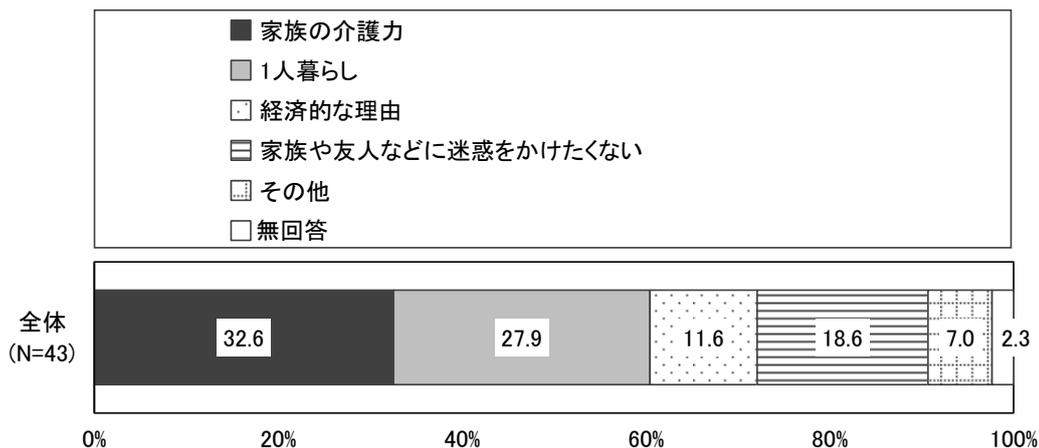
	調査数	可能だと思	可支	ど	不	不	わ	無	
		能だと思	能支	ち	可	可	か	回	
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	579	17.4	23.7	3.1	5.9	1.6	28.7	19.7	
要介護度	要支援1	36	25.0	19.4	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1
	要支援2	153	19.6	21.6	2.6	5.2	1.3	28.8	20.9
	要介護1	127	16.5	29.1	4.7	3.9	0.0	25.2	20.5
	要介護2	120	14.2	28.3	1.7	7.5	2.5	30.8	15.0
	要介護3	70	8.6	24.3	5.7	5.7	4.3	32.9	18.6
	要介護4	53	24.5	15.1	1.9	7.5	1.9	28.3	20.8
	要介護5	20	25.0	5.0	5.0	0.0	0.0	15.0	50.0

B票問6-③で「4. 不可能に近い」「5. 不可能」の方のみ

B票問6-④ あなたが最も不可能だと思う要因は、何ですか（1つを選択）

不可能だと思う要因については、「家族の介護力」（32.6%）が最も高く、次いで「1人暮らし」（27.9%）、「家族や友人などに迷惑をかけたくない」（18.6%）、「経済的な理由」（11.6%）となっている。また、「その他」は、具体的に「入院しているため」、「認知症のため」との回答があった。要介護度別は、サンプル数が少ないため参考とする。

図表-53 最も不可能だと思う要因



図表-54 要介護度別 最も不可能だと思う要因

	調査数	家族の介護力	1人暮らし	経済的な理由	家族や友人などに迷惑をかけたくない	その他	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	43	32.6	27.9	11.6	18.6	7.0	2.3	
要介護度	要支援1	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	要支援2	10	0.0	50.0	10.0	40.0	0.0	0.0
	要介護1	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	要介護2	12	41.7	41.7	0.0	8.3	0.0	8.3
	要介護3	7	14.3	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0
	要介護4	5	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	要介護5	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

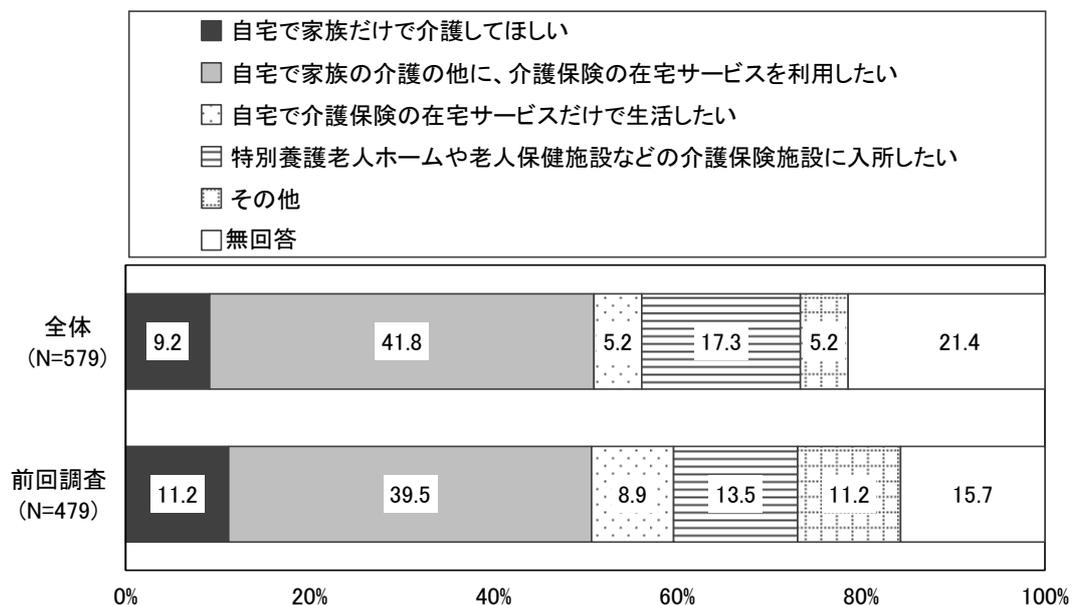
(5) 今後の介護希望について

B票問7 あなたは、今後、どのように介護してほしいと思いますか（1つを選択）

今後の介護希望では、「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」（41.8%）が最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい」（17.3%）、「自宅で家族だけで介護してほしい」（9.2%）、「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」「その他」（5.2%）となっており、在宅で何らかの介護を希望する人は56.2%となっている。「その他」は、具体的に「わからない」「本人の意思が不明」等の回答があった。

要介護度別にみると、要支援1では「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい」（30.6%）が他の要介護度に比べて高くなっている。

図表－55 今後の介護希望



図表－56 要介護度別 今後の介護希望

	調査数	自宅家族だけで介護してほしい	自宅家族の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい	自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい	特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	579	9.2	41.8	5.2	17.3	5.2	21.4	
要介護度	要支援1	36	5.6	25.0	16.7	30.6	2.8	19.4
	要支援2	153	7.8	40.5	6.5	22.9	3.3	19.0
	要介護1	127	11.8	44.9	4.7	15.7	3.9	18.9
	要介護2	120	7.5	41.7	5.8	15.8	9.2	20.0
	要介護3	70	10.0	47.1	1.4	11.4	5.7	24.3
	要介護4	53	11.3	45.3	0.0	9.4	7.5	26.4
	要介護5	20	10.0	35.0	0.0	10.0	0.0	45.0

第2章 調査結果

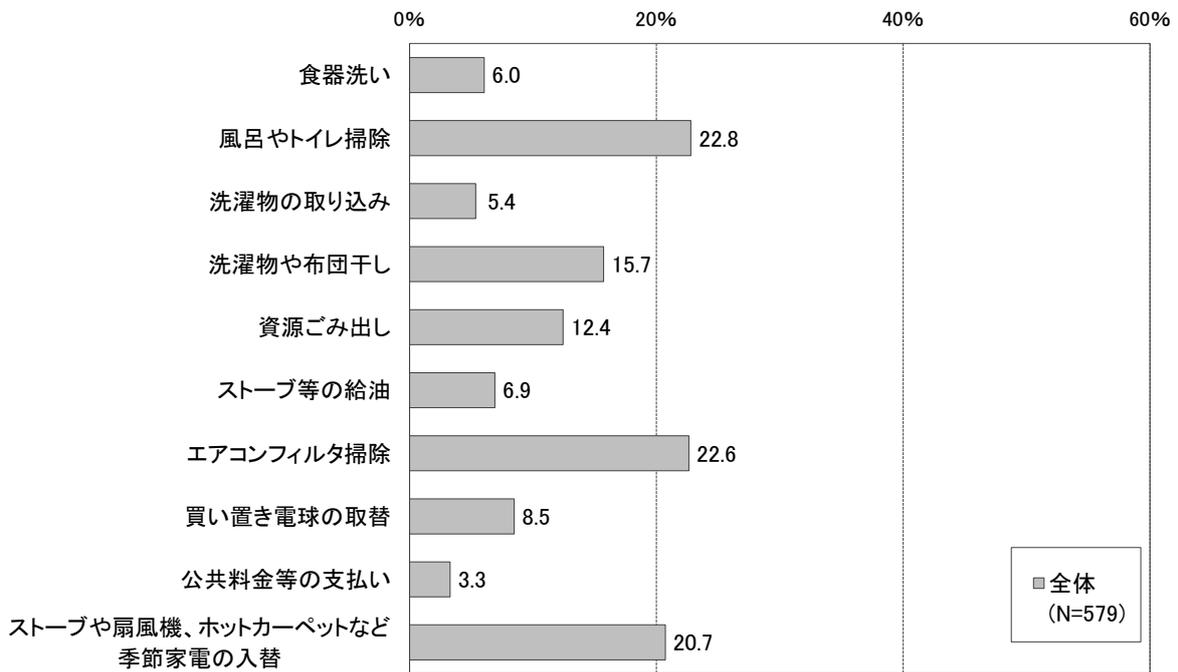
(6) 介護保険対象外の利用したいサービスについて

B票問8 介護保険対象外で日常生活のお手伝いをするサービス（30分以内、利用負担額500円程度）が利用できるとしたら、利用したいものは、何ですか（複数選択可）

介護保険対象外で日常生活のお手伝いをするサービスの利用意向について、「風呂やトイレ掃除」（22.8%）が最も高く、次いで「エアコンフィルタ掃除」（22.6%）、「ストーブや扇風機、ホットカーペットなど季節家電の入替」（20.7%）となっている。

要介護度別にみると、要支援2では「ストーブ等の給油」「買い置き電球の取替」（ともに9.8%）、要介護2では「公共料金等の支払い」（5.0%）、要介護4では「食器洗い」（11.3%）が他の要介護度に比べて高くなっている。その他の項目は、要支援1が最も高くなっている。

図表－57 介護保険対象外の利用したいサービス



図表－58 要介護度別 介護保険対象外の利用したいサービス

	調査数	食器洗い	風呂やトイレ掃除	洗濯物の取り込み	洗濯物や布団干し	資源ごみ出し	ストーブ等の給油	エアコンフィルタ掃除	買い置き電球の取替	公共料金等の支払い	ストーブや扇風機、ホットカーペットなど季節家電の入替	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	579	6.0	22.8	5.4	15.7	12.4	6.9	22.6	8.5	3.3	20.7	
要介護度	要支援1	36	0.0	36.1	8.3	25.0	25.0	5.6	27.8	8.3	0.0	36.1
	要支援2	153	6.5	24.8	5.2	15.7	11.8	9.8	25.5	9.8	3.3	24.2
	要介護1	127	6.3	26.0	5.5	10.2	10.2	4.7	24.4	6.3	2.4	15.7
	要介護2	120	6.7	22.5	5.0	22.5	14.2	5.8	20.0	9.2	5.0	21.7
	要介護3	70	2.9	15.7	4.3	14.3	7.1	7.1	20.0	8.6	4.3	15.7
	要介護4	53	11.3	13.2	7.5	13.2	13.2	9.4	15.1	9.4	3.8	20.8
	要介護5	20	5.0	15.0	0.0	5.0	15.0	0.0	25.0	5.0	0.0	10.0

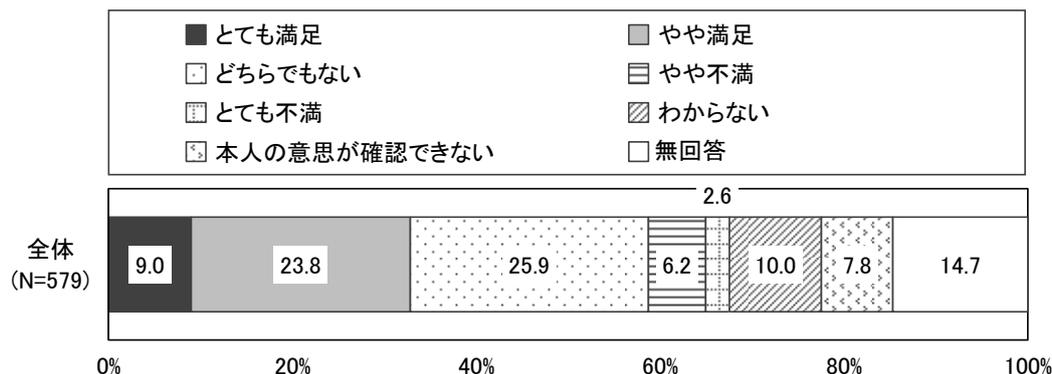
(7) 飯塚市について

B票問9 ご本人が暮らしている飯塚市に満足していますか（1つを選択）

飯塚市の満足度について、「どちらでもない」(25.9%)が最も高く、次いで「やや満足」(23.8%)、「わからない」(10.0%)、「とても満足」(9.0%)となっている。『満足』(「とても満足」+「やや満足」)の割合は32.8%、『不満』(「やや不満」+「とても不満」)の割合は8.8%となっている。

要介護度別にみると、要支援2では『満足』の割合が39.2%と他の要介護度に比べて最も高く、一方、要支援1では『不満』の割合が16.7%と他の要介護度に比べて高くなっている。

図表－59 飯塚市の満足度



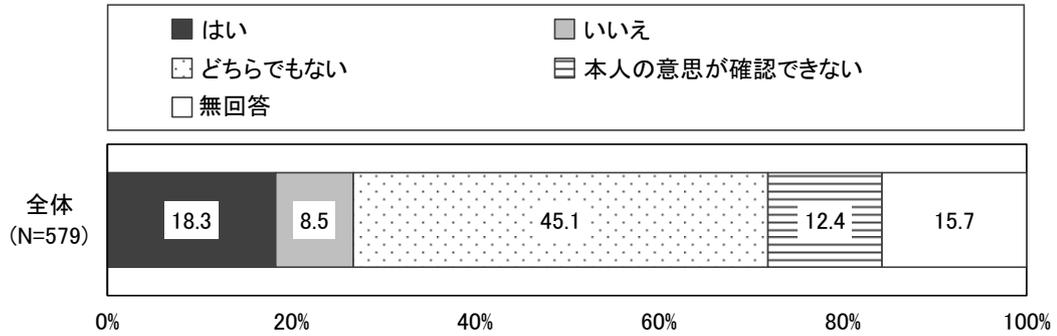
図表－60 要介護度別 飯塚市の満足度

	調査数	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	わからない	本人の意思が確認できない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	579	9.0	23.8	25.9	6.2	2.6	10.0	7.8	14.7	
要介護度	要支援1	36	13.9	25.0	30.6	11.1	5.6	8.3	0.0	5.6
	要支援2	153	13.1	26.1	27.5	7.8	1.3	7.8	0.7	15.7
	要介護1	127	6.3	27.6	29.9	3.1	3.9	11.0	5.5	12.6
	要介護2	120	5.0	24.2	23.3	6.7	3.3	10.0	10.8	16.7
	要介護3	70	2.9	20.0	27.1	7.1	1.4	12.9	12.9	15.7
	要介護4	53	15.1	17.0	20.8	3.8	1.9	13.2	15.1	13.2
	要介護5	20	15.0	10.0	5.0	5.0	0.0	5.0	35.0	25.0

B票問10 ご本人が暮らしている飯塚市を他の人にも勧めたい市だと思いますか（1つを選択）

飯塚市を勧めたい市だと思うかでは、「どちらでもない」(45.1%)が最も高く、次いで「はい」(18.3%)、「本人の意思が確認できない」(12.4%)、「いいえ」(8.5%)となっている。
 要介護度別にみると、要介護4では「はい」(26.4%)が他の要介護度に比べて高くなっている。

図表－6 1 飯塚市を勧めたい市だと思うか



図表－6 2 要介護度別 飯塚市を勧めたい市だと思うか

	調査数	はい	いいえ	どちらでもない	本人の意思が確認できない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	579	18.3	8.5	45.1	12.4	15.7	
要介護度	要支援1	36	19.4	11.1	52.8	2.8	13.9
	要支援2	153	21.6	11.8	47.7	3.9	15.0
	要介護1	127	16.5	9.4	51.2	8.7	14.2
	要介護2	120	15.0	6.7	44.2	16.7	17.5
	要介護3	70	15.7	4.3	45.7	17.1	17.1
	要介護4	53	26.4	7.5	28.3	24.5	13.2
	要介護5	20	10.0	0.0	20.0	45.0	25.0

5. 調査結果に基づく分析

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

主な介護者が不安を感じる介護について、要介護度別にみると、要介護3以上では「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「衣服の着脱」の割合が高くなっている。また、要介護1・2では「認知症状への対応」、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が高くなっている。（34頁）

施設等への入所・入居の検討状況では、全体では56.8%、要介護3以上では43.7%、単身世帯では50.8%の人が「入所・入居は検討していない」と回答している。（18頁）

主な介護者が「在宅生活の継続が困難」と判断するポイントとして、「排泄や食事介助等の身体介護」「認知症」「家事等の生活援助」が挙げられる。これらの介護不安を軽減するためには、加齢等に伴う要介護者の重度化防止、認知症の予防・重度化防止等の支援の充実に加えて、保険外のサービスも活用しながら在宅生活継続のための支援が必要である。また、重度化した認定者においても、4割以上の人が在宅生活の継続を希望していることから支援の充実が必要と考えられる。

(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

主な介護者のうち、フルタイムで働いているのは22.6%、パートタイムで働いているのは13.1%となっており、35.7%の人が何らかの職に就き、全体の約6割が何らかの調整を行いながら働いている。また、仕事と介護の両立に効果があると思う勤務先からの支援では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（30.9%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（21.3%）、「介護をしている従業員への経済的な支援」（20.3%）等の割合が高くなっている。（26～27・29頁）

就労している主な介護者の今後の介護継続意向をみると、「問題なく、続けていける」のは22.7%、「問題はあるが、何とか続けていける」のは53.1%となっている。しかし、14.0%の人は『難しい』と回答している。主な介護者が不安を感じる介護について、介護継続意向別にみると「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した人は、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」「身だしなみ（洗顔、歯磨き等）」「外出の付き添い、送迎等」「服薬」「認知症状への対応」を不安に感じる割合が高くなっている。また、『続けていくのは「やや+かなり」難しい』と回答した人ほど、「衣服の着脱」「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」「食事の準備（調理等）」を不安に感じる割合が高くなっている。（31・35頁）

介護をしながら就労を継続するためには、介護者の多様な就労状況に柔軟に対応できるようなサービス提供体制の整備・充実に加え、働き方の調整や介護のための休暇取得を促進するため、市民に対する周知・啓発が求められる。

(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

保険外のサービスは約6割の人が利用しており、同居世帯より単身世帯の方が利用率が高い。（12～13頁）また、今後の在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、単身世帯は同居世帯よりも生活支援を求める割合が高くなっている。（16頁）

今後も単身世帯が増加することが予測されており、増えるニーズに対して、介護保険サービスを整備するとともに、保険外の支援やサービス等、地域資源の把握・活用していく必要がある。

(4) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

要介護度別の訪問診療の利用割合は、要介護度が重度であるほど利用率が高くなっており、要介護3では26.8%、要介護4では28.2%、要介護5では40.0%となっている。（22頁）

主な介護者が行っている介護のうち、「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」は前回調査より5.8ポイント増加している。（8頁）また、要介護3以上の介護者では「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」に不安を感じている人が他の介護度に比べて高くなっている。（34頁）

要介護度が重度化するにつれて、介護者が行う介護は多岐にわたる。今後、介護と医療の両方のニーズを持つ人の増加も予想されており、適切なサービス提供体制を確保していくかが課題となる。

第3章 調査票



第9期

郵送

い い づ か し ざ い だ く か い ご じ っ だ い ち ょう さ
飯塚市在宅介護実態調査
 ち ょう さ ひ ょう
【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票の記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、
 3月24日(金)までに投函してください。

き に ゅ う び 記入日	れ い わ 令和	ね ん 年	が つ 月	に ち 日
1. 調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
(1) あて名のご本人が記入				
(2) ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄：)				
(3) その他				
2. あて名ご本人の性別についてお答えください。				
(1) 男性 (2) 女性				
3. あて名ご本人の年齢についてお答えください。				
(1) 65～74歳 (2) 75～84歳 (3) 85～94歳				
(4) 95～104歳 (5) 105歳以上				

い い づ か し こ う れ い か い こ か そ う む か か り
飯塚市 高齢介護課 総務係

はじめに

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から介護保険事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

飯塚市では、令和5年に予定している高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定の基礎資料とするため、アンケート調査をお願いすることとしました。

この調査は、「適切な在宅生活の継続のために、どのようなサービスが必要であるか」を把握するため、厚生労働省が示す調査項目・方法に準拠して実施をするものです。

対象者は、令和5年1月末時点において、市内に居住する要支援・要介護認定者の方のうち、1,500名を無作為に抽出しております。

なお、収集した個人情報、飯塚市個人情報保護条例に基づき、適正に取り扱うことをお約束いたします。

ご同意の上、調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は、以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- 本調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。
- 本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には、利用いたしません。また、当該情報については、飯塚市内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて、集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

い い づ か し ぞ い た く か い じ ゃ い ち ち ょう さ ち ょう さ ひ ょう
飯塚市在宅介護実態調査 調査票

【この調査票を記入される方はどなたですか】(いくつでも)

1. 調査対象者本人 <small>ち ょう さ たい し ょう じ ゃ ほん に ん</small>	2. 主な介護者となっている家族・親族 <small>お も か い じ ゃ か ぞ く し ん ぞ く</small>
3. 主な介護者以外の家族・親族 <small>お も か い じ ゃ い が い か ぞ く し ん ぞ く</small>	4. 調査対象者のケアマネジャー <small>ち ょう さ たい し ょう じ ゃ</small>
5. その他 <small>た</small>	

【調査対象者ご本人の要介護度についてご回答ください】(〇はひとつ)

1. 要支援 1 <small>よう し え ん</small>	2. 要支援 2 <small>よう し え ん</small>	
3. 要介護 1 <small>よう か い じ ゃ</small>	4. 要介護 2 <small>よう か い じ ゃ</small>	5. 要介護 3 <small>よう か い じ ゃ</small>
6. 要介護 4 <small>よう か い じ ゃ</small>	7. 要介護 5 <small>よう か い じ ゃ</small>	8. わからない

A 票 主に調査対象者様ご本人について、お伺いします

(1) 世帯類型について、ご回答ください(〇はひとつ)

1. 単身世帯 <small>たん し ん せ たい</small>	2. 夫婦のみ世帯 <small>ふう ふう せ たい</small>	3. その他 <small>た</small>
---------------------------------------	--	----------------------------

(2) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(〇はひとつ)

1. ない	}	
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない <small>か ぞ く し ん ぞ く か い じ ゃ し ゅ う に ち す く</small>		
3. 週に1～2日ある <small>し ゅ う に ち</small>	}	(3)～(13)へ
4. 週に3～4日ある <small>し ゅ う に ち</small>		
5. ほぼ毎日ある <small>まい に ち</small>		

(3) 主な介護者の方は、どなたですか(〇はひとつ)

1. 配偶者 <small>はい ぐ ー じ ゃ</small>	2. 子 <small>こ</small>	3. 子の配偶者 <small>こ はい ぐ ー じ ゃ</small>
4. 孫 <small>ま ご</small>	5. 兄弟・姉妹 <small>き ょう だ い し ま い</small>	6. その他 <small>た</small>

(4) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(〇はひとつ)

1. 男性 <small>だ ん せい</small>	2. 女性 <small>じ ゃ せい</small>
--------------------------------	--------------------------------

(5) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(○はひとつ)		
1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない
(6) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(いくつでも)		
[身体介護]		
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬
10. 認知症状への対応	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
[生活援助]		
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き		
[その他]		
15. その他	16. わからない	
(7) ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の仕事の勤務形態は問いません)(いくつでも)		
1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)		
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)		
3. 主な介護者が転職した		
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した		
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない		
6. わからない		
※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。		

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

<p>(8) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (いくつでも)</p>		
1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物等)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他	
11. 利用していない		
※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。		
<p>(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、更なる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(いくつでも)</p>		
1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院、買い物等)
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他	
11. 利用していない		
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。		
<p>(10) 現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(○はひとつ)</p>		
1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している	
3. 既に入所・入居申し込みをしている		
<p>※施設等とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。</p>		

● 調査対象者（あて名ご本人）がご家族やご親族から介護を受けている方

⇒ B票へ

（A票（2）で「2」～「5」と回答された方）

● 上記以外の方

⇒ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

B票 主に介護者について、お伺いします

(1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(○はひとつ)

- | | | |
|-----------------------|---|----------|
| 1. フルタイムで働いている | } | (2)～(5)へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | (5)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※パートタイムとは、1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆるアルバイト、嘱託、契約社員等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から、フルタイム・パートタイムのいずれかを選択してください。

(2) 【(1)で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(いくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)をしながら働いている
3. 介護のために、休暇(年休や介護休暇等)を取りながら働いている
4. 介護のために、在宅勤務を利用しながら働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

(3) 【(1)で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果がある
 と思いますか(○は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

(4) 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(○はひとつ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

(5) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているかどうかは問いません)(○は3つまで)

〔身体介護〕

1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身	5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	9. 服薬
10. 認知症状への対応	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	

〔生活援助〕

12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)

14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他 16. 不安に感じていることは、特にな
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

● ご本人様について、お伺いします。

(6) あなたは、人生の最期を迎えたら、どこを希望していますか。事情は考慮せず、純粋にあなたが望む場所をご回答ください(1つに○)

1. 自宅	2. 何かしらの施設	3. わからない
4. その他()		

①【(6)で「2.何かしらの施設」の方のみ】どのような施設ですか(いくつでも)

1. 病院	2. ホスピス・緩和ケア病棟
3. 老人ホームなどの福祉施設	4. 高齢者向けのケア付き集合住宅

②【(6)で「2.何かしらの施設」の方のみ】施設を選択した理由は、何ですか(いくつでも)

1. 家族や親族の負担が心配	2. 看取ってくれる医師がいない
3. お金が大変そう	4. 自宅では痛みなどに苦しみそう
5. かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい	
6. その他()	

③あなたは、希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にありますか。(1つに○)

1. 可能だと思ふ ⇒ (7)へ 2. 支援などがあれば可能だと思ふ ⇒ (7)へ
 3. どちらでもない ⇒ (7)へ 4. 不可能に近い ⇒ ④へ
 5. 不可能 ⇒ ④へ 6. わからない ⇒ (7)へ

④【③において「4. 不可能に近い」「5. 不可能」の方のみ】
 あなたが最も不可能だと思ふ要因は、何ですか(1つに○)

1. 家族の介護力 2. 1人暮らし 3. 経済的な理由
 4. 家族や友人などに迷惑をかけたくない 5. その他()

(7)あなたは、今後、どのように介護してほしいと思ひますか(1つに○)

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
 2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
 3. 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
 4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい
 5. その他()

(8)介護保険対象外で日常生活のお手伝いをするサービス(30分以内、利用負担額500円程度)が利用できるとしたら、利用したいものは、何ですか。(いくつでも)

1. 食器洗い 2. 風呂やトイレ掃除 3. 洗濯物の取り込み
 4. 洗濯物や布団干し 5. 資源ごみ出し 6. ストープ等の給油
 7. エアコンフィルタ掃除 8. 買い置き電球の取替 9. 公共料金等の支払い
 10. ストープや扇風機、ホットカーペットなど季節家電の入替

(9)ご本人が暮らしている飯塚市に満足していますか(1つに○)

1. とても満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満
 5. とても不満 6. わからない 7. 本人の意思が確認できない

(10)ご本人が暮らしている飯塚市を他の人にも勧めたい市だと思ひますか(1つに○)

1. はい 2. いいえ 3. どちらでもない 4. 本人の意思が確認できない

■■■以上で、調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

**飯塚市 在宅介護実態調査
【報告書】**

発行日：令和5年5月
発行者：飯塚市 高齢介護課